

# 第3章 スポーツを取り巻く現状と今後の方向性

## 1 国や県の動き

### (1) 国の動向

#### ●東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、史上初めて1年延期され、2021年（令和3年）に原則無観客によりオリンピックが開催されました。

#### ●第3期スポーツ基本計画の策定

〔計画期間 2022年度（令和4年度）～2026年度（令和8年度）〕

2022年（令和4年）3月に策定された「第3期スポーツ基本計画」では、スポーツを「つくる／はぐくむ」、スポーツで「あつまり、ともに、つながる」、スポーツに「誰もがアクセスできる」といった視点が示され、スポーツを通じた Well-Being<sup>1</sup>の実現を目指しています。

【図表3-1 第3期スポーツ基本計画における3つの視点】

| 新たな視点                          | 重点施策  |
|--------------------------------|---|
| スポーツを「つくる／はぐくむ」                | ■多様な主体が参画できるスポーツの機会創出<br>■自主性・自律性を養う指導ができるスポーツ指導者の養成<br>■スポーツ界におけるDXの導入   |
| 「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる | ■スポーツを通じた共生社会の実現<br>■スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力を通じたわが国のスポーツ体制の強化<br>■スポーツを通じた国際交流   |
| スポーツに「誰もがアクセス」できる              | ■地域において、住民の誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供<br>■アスリート育成パスウェイの構築およびスポーツ医・科学、情報等による支援の充実<br>■本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがないような継続的なアクセスの確保 |

#### ●中学校の部活動地域展開・地域クラブ活動の推進

急激な少子高齢化の進展等により、従来のような形での部活動の実施が困難になっていることを踏まえ、文部科学省では、厳しい状況の中でも子どもたちのスポーツや文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実等を図るため、2025年（令和7年）12月に「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を策定し、2026年度（令和8年度）から2028年度（令和10年度）までの3年間を「改革実行期間」（前期）、2029年度（令和11年度）から2031年度（令和13年度）までの3年間を「改革実行期間」（後期）と位置付け、期間中に全ての休日の学校部活動において地域展開の実現を目指すとしています。

1 Well-Being：身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

## (2) 静岡県の動向

### ●第4期静岡県スポーツ推進計画の策定

〔計画期間 2025年度（令和7年度）～2028年度（令和10年度）〕

第4期静岡県スポーツ推進計画では、「オール静岡で実現する、スポーツによる県民のウェルビーイングの向上」を実現するために、「スポーツによる豊かで、幸せな暮らし・社会の実現」、「スポーツの魅力による地域活力の醸成」の2項目を基本方針とし、関係機関と連携しながら取り組むこととしています。

【図表3-2 静岡県スポーツ推進計画の体系】

| 基本理念                                       | 基本方針                                 | 施策の柱   |
|--|--------------------------------------|--|
| ウエルビーイングの向上<br>オール静岡で実現する、<br>スポーツによる県民の向上 | 基本方針1<br>スポーツによる豊かで、<br>幸せな暮らし・社会の実現 | 柱1：楽しさ・喜びにあふれる Sport in Life の実現<br>柱2：スポーツを通じた誰もが活躍できる社会の実現<br>柱3：スポーツを通じた人間性の育成と競技力の向上 |
|  | 基本方針2<br>スポーツの魅力による<br>地域活力の醸成       | 柱4：スポーツによる地域の活性化<br>柱5：スポーツの成長産業化  |

### ●しずおかスポーツ産業ビジョンの策定

〔計画期間 2025年（令和7年）～2035年（令和17年）〕

スポーツの成長産業化が推進されている中で、静岡県では新たに「しずおかスポーツ産業ビジョン」を策定し、スポーツが持つ「地域に集める」、「地域をつなげる」、「地域を育てる」という力を活かし、スポーツの成長産業化に向けた10年後の目指すべき姿や、静岡県、県内市町、プロスポーツチーム、民間企業等のスポーツ関係者それぞれが取り組むべき施策をとりまとめています。

【図表3-3 しずおかスポーツ産業ビジョンの体系】

| 目指すべき姿                     | 施策                                   | 方向性   |
|----------------------------|--------------------------------------|---|
| 「スポーツ・コネクティッド・ワールド」<br>の実現 | 施策1<br>“みる”スポーツの拡大を通じた<br>地域への好循環の創出 | ・“みる”スポーツの魅力向上により、市場規模の拡大<br>や地域活性化につなげる好循環を創出                            |
|                            | 施策2<br>県内産業とスポーツ分野の共創<br>事業展開        | ・スポーツチームをはじめとする県内のスポーツ資源<br>や、県内産業との融合による新たな産業創出                          |
|                            | 施策3<br>地域資源を活用した県外からの<br>人の呼び込み      | ・豊富なスポーツ・観光資源を活かしたスポーツツー<br>リズムの推進による交流人口の拡大                              |
|                            | 施策4<br>地域スポーツの振興                     | ・部活動の地域展開に向けたスポーツ環境の整備<br>・スポーツを通じたコミュニティ形成による Well-<br>being の向上と健康寿命の延伸 |
|                            | 施策5<br>スポーツを支える人材育成                  | ・支える人材の活用を通じた「する」「みる」スポーツ<br>の拡大  |

## 2 スポーツに関する市民意識調査の結果について

第5次袋井市スポーツ推進計画策定の基礎資料とするため、2024年度(令和6年度)に「第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査」を実施しました。

【図表3-4 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査の概要】

| 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査 |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| 調査対象者                      | 袋井市在住の18歳以上の市民から無作為抽出        |
| 調査票配布数                     | 3,000人                       |
| 調査期間                       | 2024年(令和6年)7月12日～7月31日       |
| 調査方法                       | 郵送配布、郵送回収及びインターネットによるオンライン回答 |
| 回収数                        | 978人                         |
| 回収率                        | 32.6%                        |

### (1) スポーツを「する」に関して

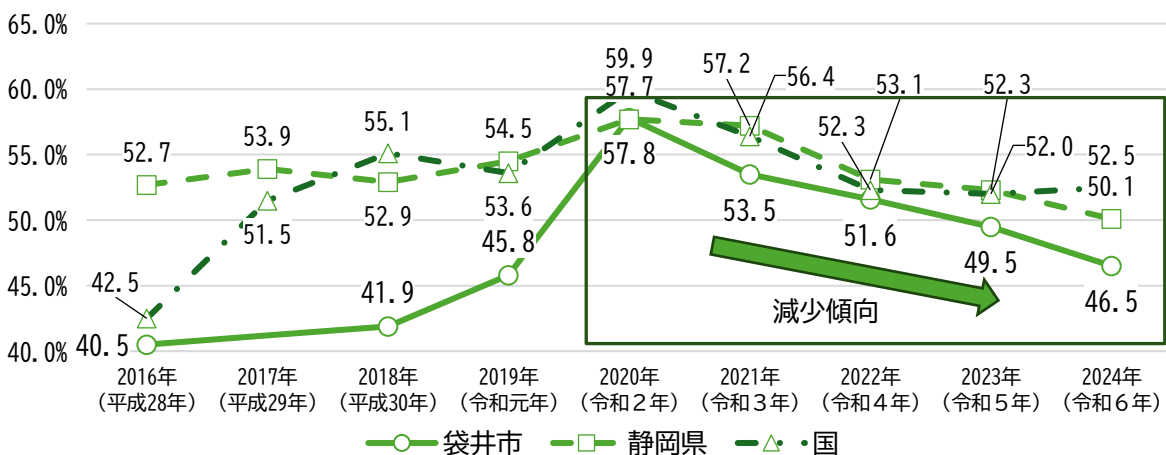
#### 〈特徴〉

- ・週1回以上、スポーツを行った人の割合は46.5%。令和2年調査(57.8%)を下回っている。特に30～40歳代は実施率が低い。
- ・スポーツをすることが好きと答えた人の割合は7割と高くなっている。
- ・スポーツをしなかった理由は、「時間がない」が6割と最も多く、前回調査より増加。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツの習慣の「回数が減った、やめた」が2割。

#### ① 成人の週1回以上のスポーツの実施率

成人の週1回以上のスポーツの実施率について、2020年(令和2年)以降は減少傾向にあり、2024年(令和6年)では46.5%となっています。

【図表3-5 成人の週1回以上のスポーツの実施率】



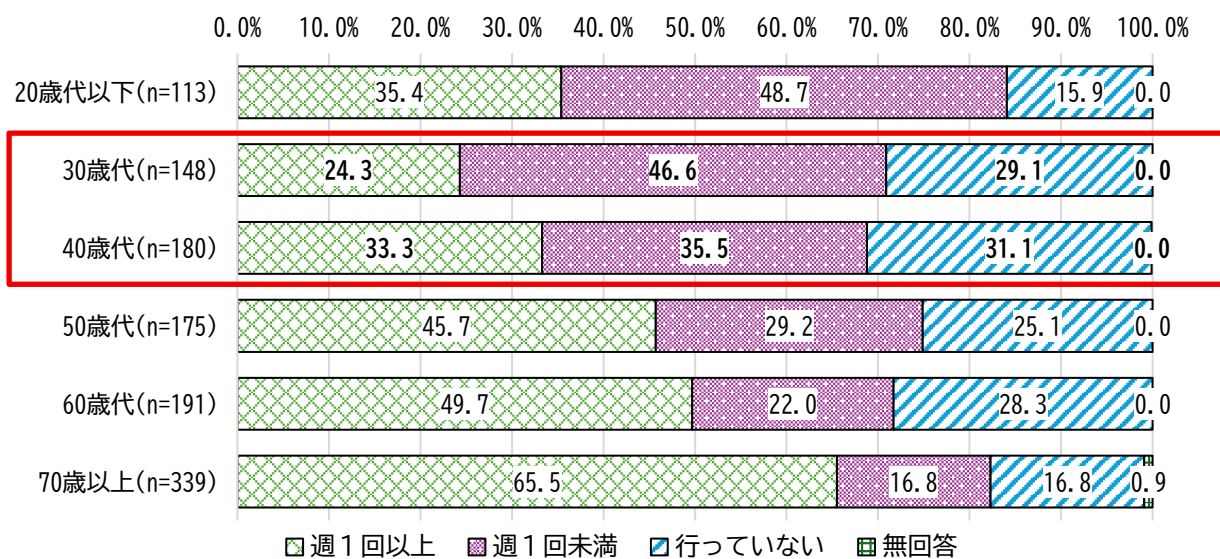
(資料) 第4次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査(2020年(令和2年))  
袋井市総合計画推進に係る市民意識調査(2016年(平成28年)～2019年(令和元年)、2021年(令和3年)～2024年(令和6年))

## ② 年齢別のスポーツ実施率

成人の週1回以上のスポーツの実施率を年齢別にみると、70歳代以上では「週1回以上」が過半数となっていますが、30歳代、40歳代では他の年齢に比べて「週1回以上」が低く、「行っていない」が高くなっています。

性・年齢別にみると、男女ともに30歳代、60歳代で「行っていない」が高くなっており、男性では70歳以上、女性では40歳代も「行っていない」が高くなっています。

【図表3-6-1 年齢別のスポーツ実施率】



(資料) 令和6年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査

【図表3-6-2 性・年齢別のスポーツ実施率】

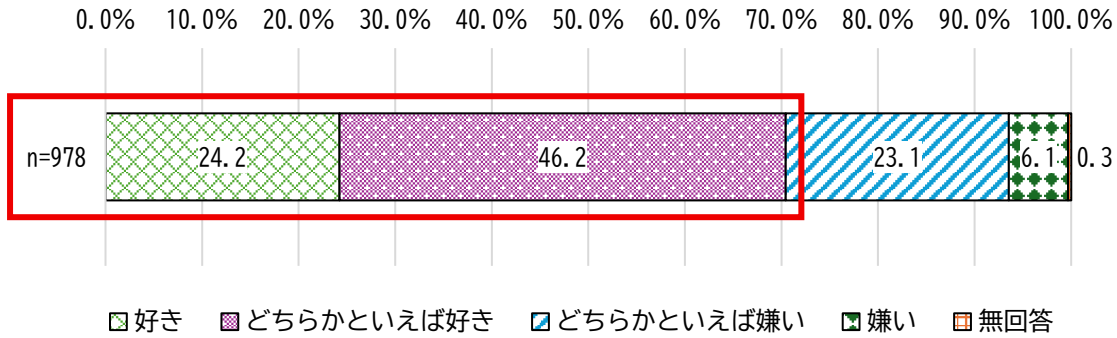
|           | 回答数(件) | 週1回以上 | 週1回未満 | 行っていない | 無回答 |
|-----------|--------|-------|-------|--------|-----|
| 男性 20歳代以下 | 41     | 41.5  | 43.9  | 14.6   | 0.0 |
| 30歳代      | 62     | 27.4  | 43.6  | 29.0   | 0.0 |
| 40歳代      | 71     | 30.9  | 42.2  | 26.8   | 0.0 |
| 50歳代      | 79     | 45.6  | 30.4  | 24.1   | 0.0 |
| 60歳代      | 84     | 46.5  | 22.6  | 31.0   | 0.0 |
| 70歳以上     | 84     | 46.5  | 22.6  | 31.0   | 0.0 |
| 女性 20歳代以下 | 66     | 30.3  | 51.5  | 18.2   | 0.0 |
| 30歳代      | 78     | 23.0  | 50.0  | 26.9   | 0.0 |
| 40歳代      | 103    | 36.9  | 30.1  | 33.0   | 0.0 |
| 50歳代      | 87     | 47.0  | 28.7  | 24.1   | 0.0 |
| 60歳代      | 103    | 51.5  | 21.4  | 27.2   | 0.0 |
| 70歳以上     | 171    | 69.6  | 14.6  | 14.0   | 1.8 |

(資料) 令和6年度 袋井市総合計画推進に係る市民意識調査

### ③ スポーツや運動をすることが好きか

スポーツや運動をすることが好きかについて、“好き”（「好き」と「どちらかといえば好き」の合計。以下「好き」）が70.4%、“嫌い”（「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」の合計。以下「嫌い」）が29.2%となっています。

【図表3-7 スポーツや運動をすることが好きか】



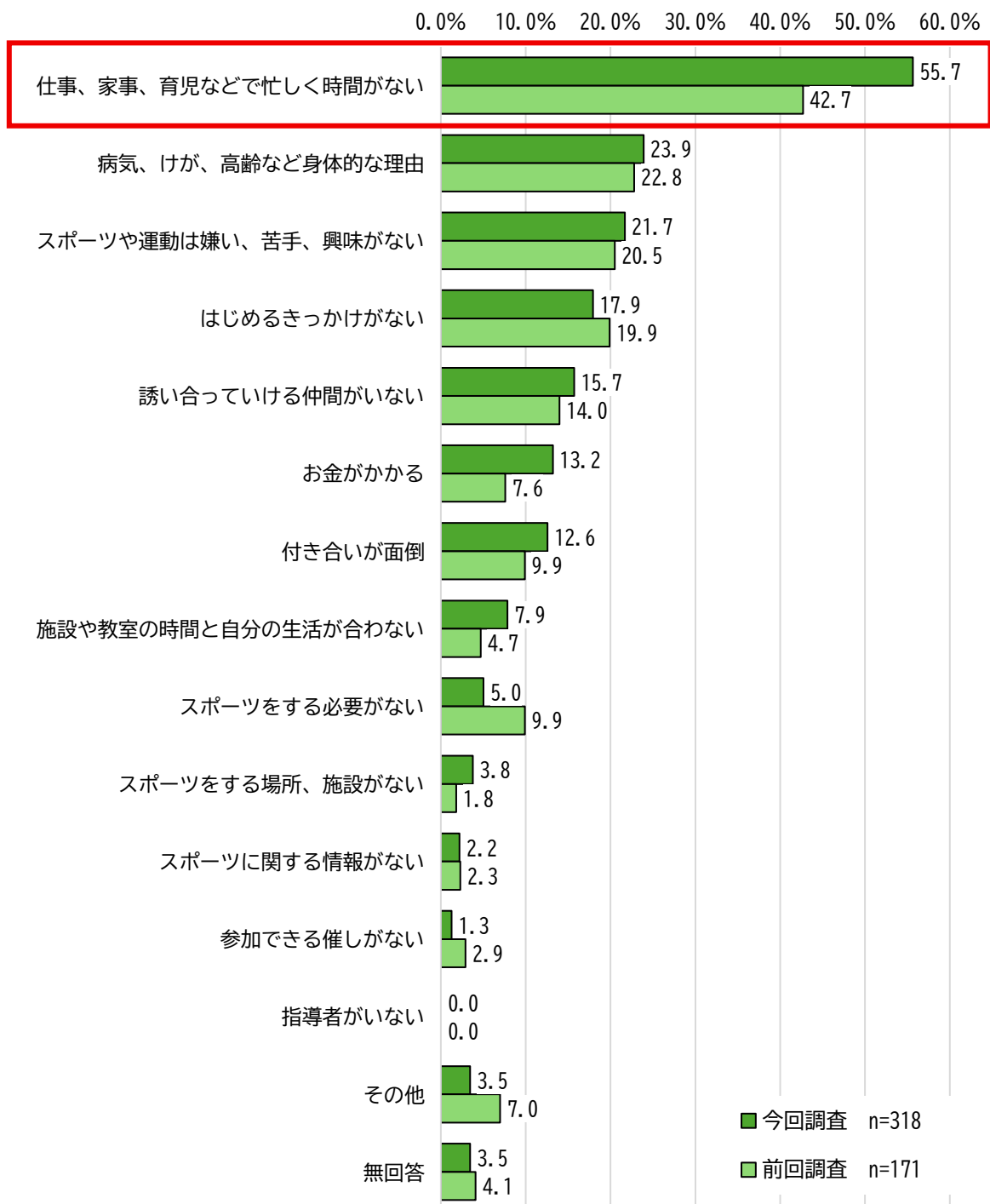
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

#### ④ スポーツや運動をしなかった主な理由

この1年間にスポーツや運動はまったくしなかったと答えた人に、その主な理由を尋ねると、「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が55.7%と最も高く、次いで「病気、けが、高齢など身体的な理由」が23.9%、「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、「仕事、家事、育児などで忙しく時間がない」が10ポイント以上増加しています。

【図表3-8 スポーツや運動をしなかった主な理由】

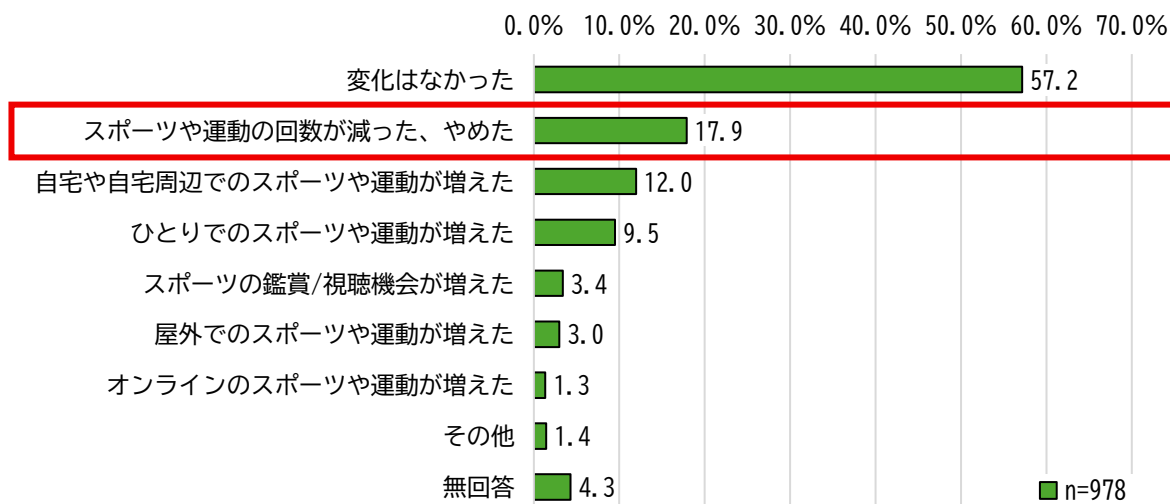


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ⑤ 新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響

新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響について、「変化はなかった」が57.2%と最も多く、次いで「スポーツや運動の回数が減った、やめた」が17.9%、「自宅や自宅周辺でのスポーツや運動が増えた」が12.0%となっています。

【図表3-9 新型コロナウイルスによるスポーツや運動習慣への影響】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

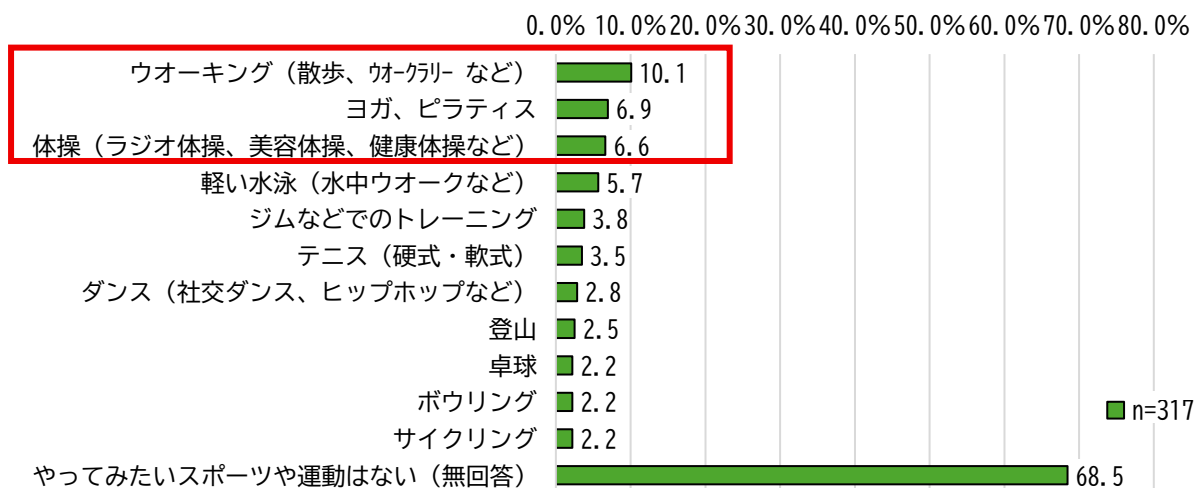
### ⑥ スポーツを行っていない人が今後取り組んでみたいスポーツ

週1回以上スポーツを行っていない人に、今後取り組んでみたいスポーツを尋ねると、「ウォーキング（散歩、ウォークリー など）」、「ヨガ、ピラティス」、「体操（ラジオ体操、美容体操、健康体操など）」が上位回答となっています。

一方、「やってみたくないスポーツや運動はない（無回答）」が68.5%となっています。

【図表3-10 週1回以上スポーツを行っていない人の今後取り組んでみたいスポーツ

(上位回答抜粋)】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## (2) スポーツを「みる」に関して

### 〈特 徴〉

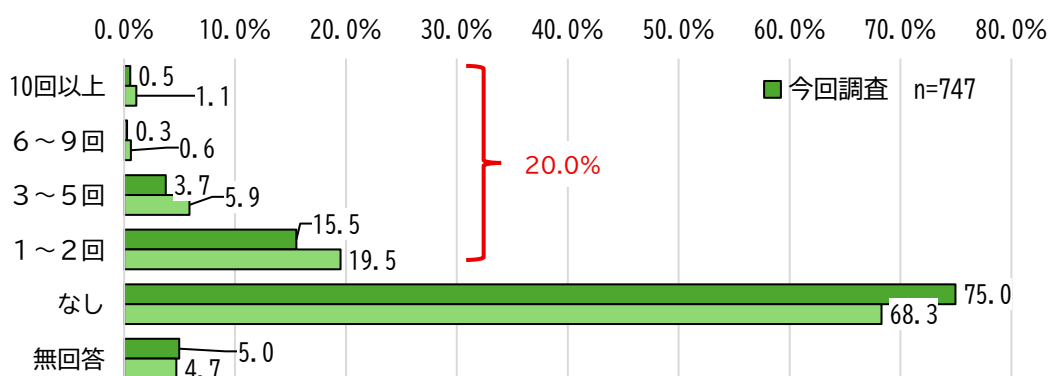
- ・総合体育館「さわやかアリーナ」（以下、「さわやかアリーナ」という。）または小笠山総合運動公園エコパ（以下、「エコパ」という。）でこの1年に観戦した割合は2割で、コロナ禍の  
前回調査（27.1％）を下回っている。
- ・さわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベントは「プロスポーツの試合や国際大会」  
の割合が最も高い。
- ・スポーツ観戦方法のうち、メディア利用が6割と高いが、現地観戦者も一定層（16.3％）ある。

### ① この1年のさわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数

スポーツ観戦をした人に、この1年のさわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数を尋ねると、「なし」が75.0％と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、さわやかアリーナ、または、エコパで観戦したことがある人（「1～2回」、「3～5回」、「6～9回」、「10回以上」の合計）は7ポイント以上減少しています。（今回調査：20.0％、前回調査：27.1％）

【図表3-11 さわやかアリーナまたはエコパでの競技スポーツ観戦回数】

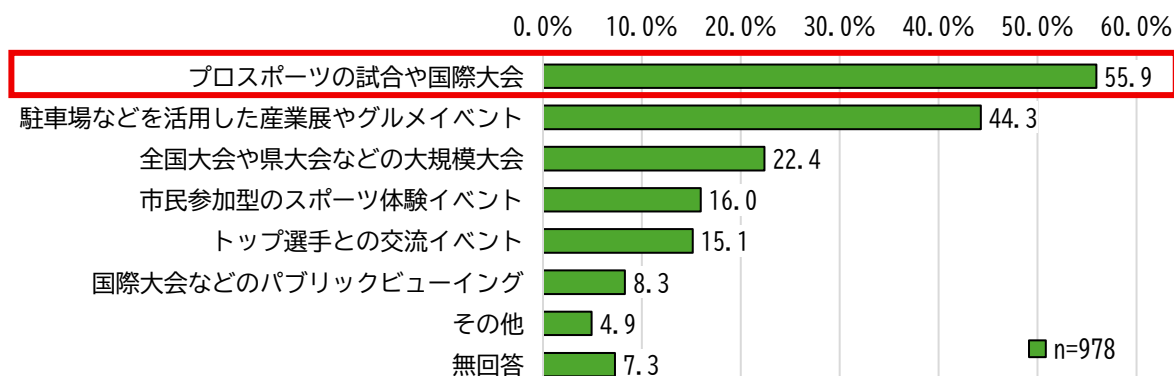


（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ② さわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベント

さわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベントについて、「プロスポーツの試合や国際大会」の割合が55.9％と最も高く、次いで「駐車場などを活用した産業展やグルメイベント」の割合が44.3％、「全国大会や県大会などの大規模大会」の割合が22.4％となっています。

【図表3-12 さわやかアリーナやエコパでの開催を期待するイベント】



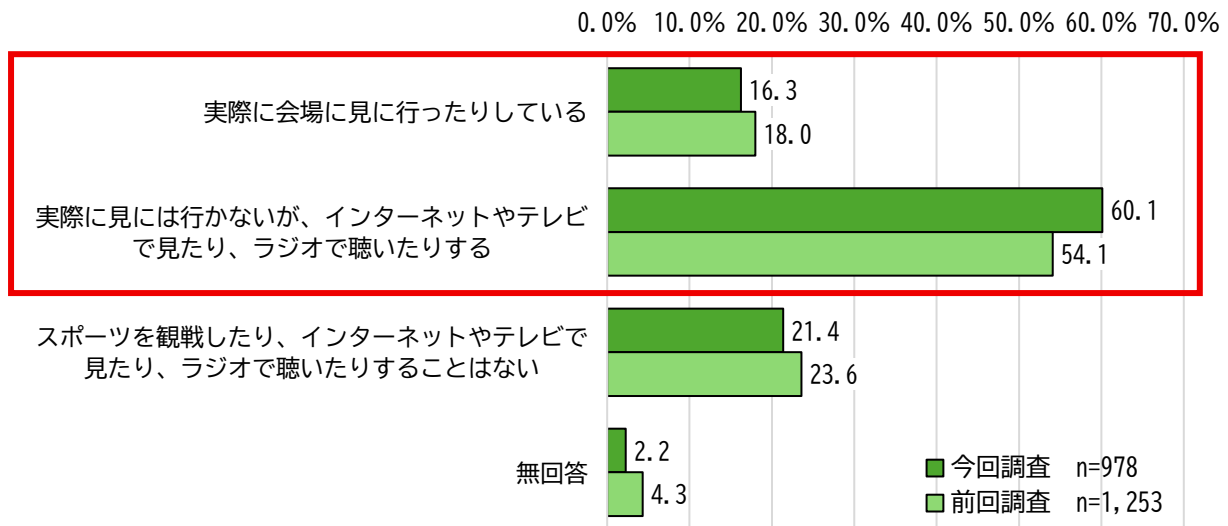
（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ③ スポーツの観戦方法

スポーツの観戦方法について、「実際に会場に見に行ったりしている」が16.3%、「実際に見には行かないが、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりする」が60.1%、「スポーツを観戦したり、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりすることはない」が21.4%となっています。

前回調査と比較すると、「実際に見には行かないが、インターネットやテレビで見たり、ラジオで聴いたりする」が6.0ポイント増加しています。

【図表3-13 スポーツの観戦方法】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### (3) スポーツを「ささえる」に関して

#### 〈特 徴〉

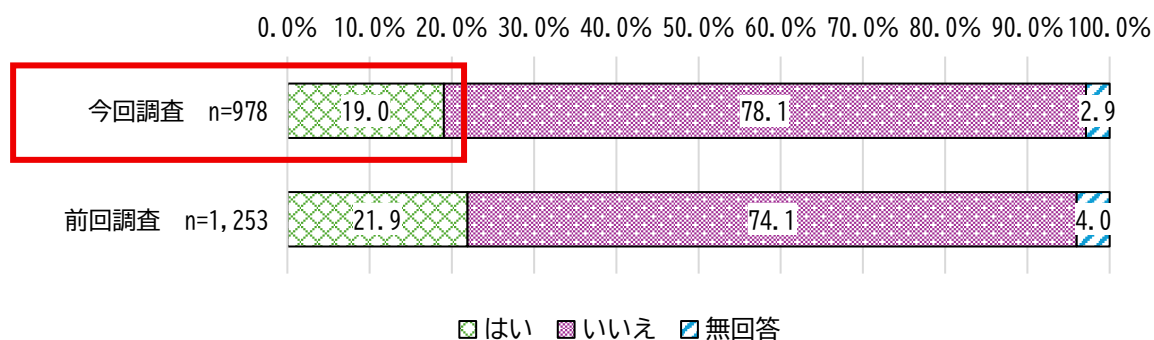
- ・スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことがある割合は前回調査から低下している。
- ・今後スポーツに対して何らかの貢献をしたいと思っている人は24.4%。
- ・スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組は「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が最も多く回答されている。

#### ① スポーツ大会やイベントへのボランティア参加経験

スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことがあるかについて、「はい」が19.0%、「いいえ」が78.1%となっています。

前回調査と比較すると、「はい」の割合が減少しています。

【図表3-14 スポーツ大会やイベントへボランティアとして参加したことがあるか】



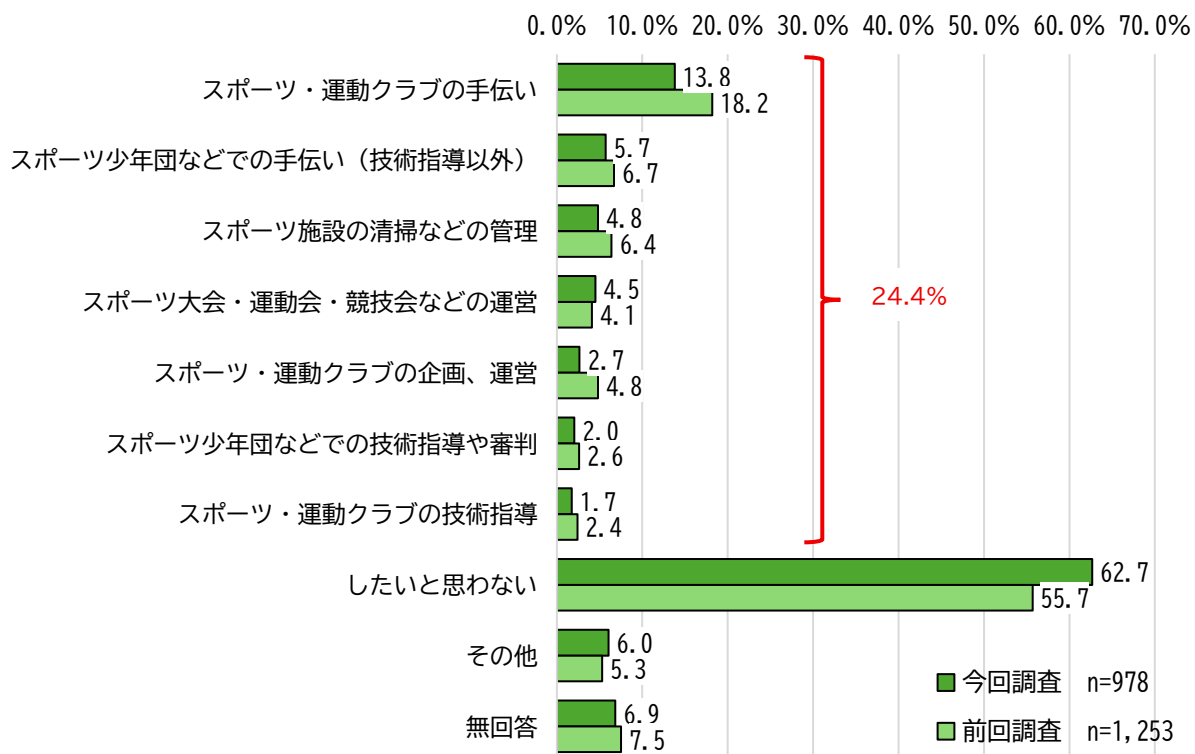
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## ② スポーツや運動に対する係わり合いや貢献

スポーツや運動に対する係わり合いや貢献について、今後スポーツや運動を支える活動を“したいと思っている”人の割合（100%から「したいと思わない」「その他」「無回答」を除いた割合）は、24.4%となっています。

前回調査と比較すると、今後スポーツや運動を支える活動を“したいと思っている”人は7ポイント以上減少しています。（今回調査：24.4%、前回調査：31.5%）

【図表3-15 スポーツや運動に対する係わり合いや貢献】

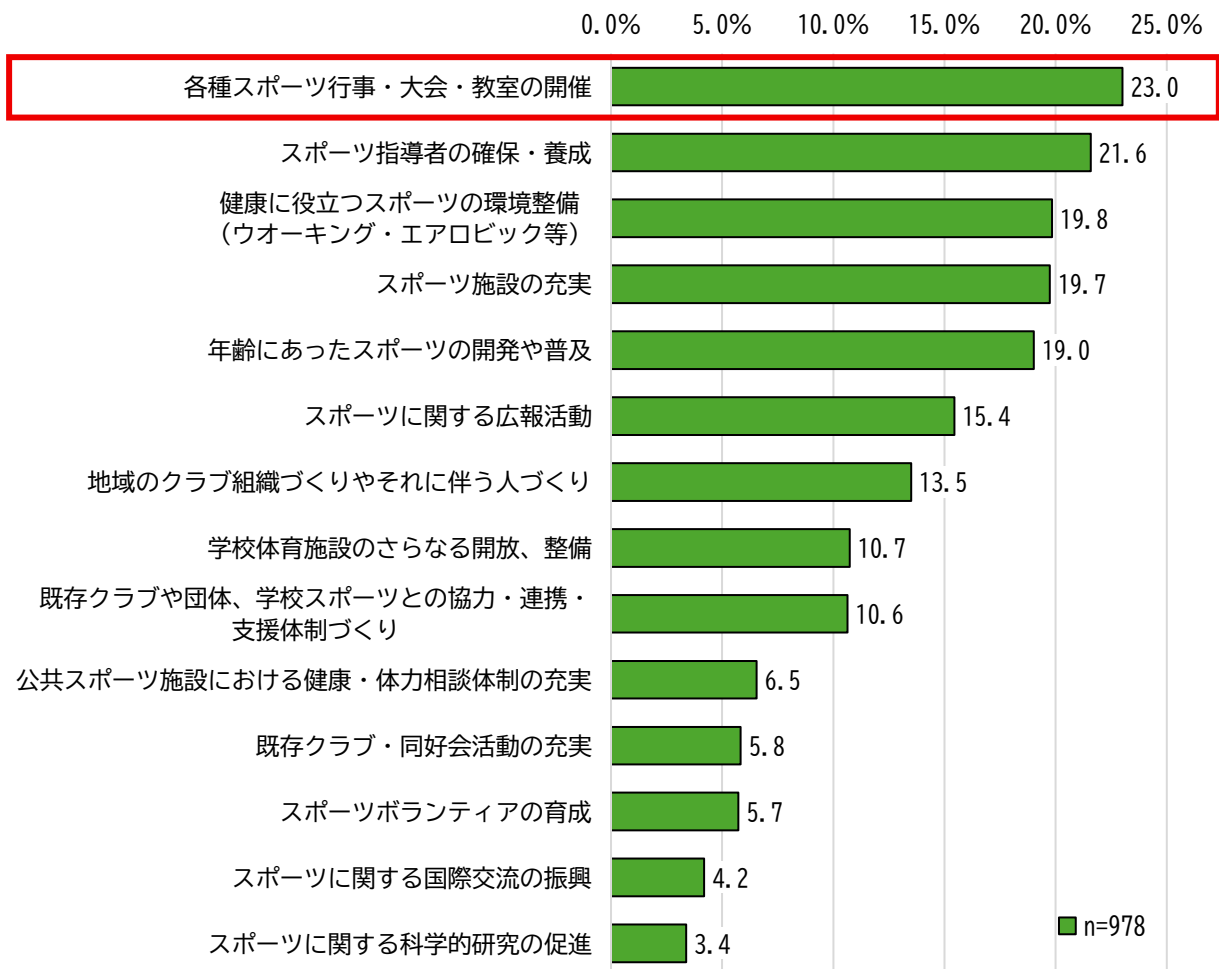


（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ③ スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組

スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組について、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が23.0%と最も高く、次いで「スポーツ指導者の確保・養成」が21.6%、「健康に役立つスポーツの環境整備（ウォーキング・エアロビック等）」が19.8%となっています。

【図表3-16 スポーツや運動の活性化のために必要な行政の取組】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

#### (4) スポーツによる社会の活性化に関して

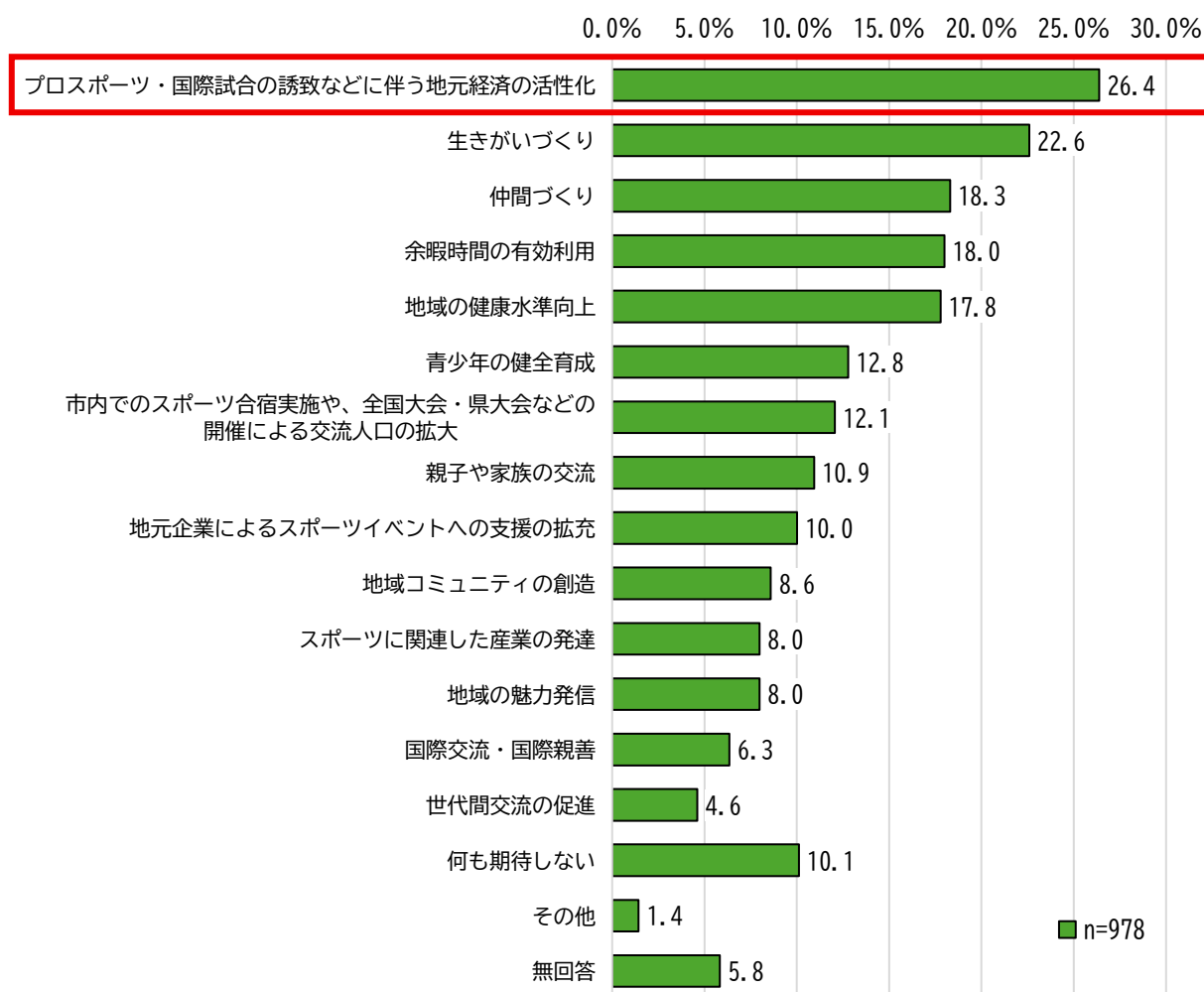
##### 〈特徴〉

- ・スポーツに期待する効果は、「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化」が多い。
- ・スポーツに期待する効果・役割を年齢別にみると、若年層では「仲間づくり」が比較的多く、また、「30歳代」は「親子や家族の交流」が他の年齢に比べて最も多く回答されている。60歳代以上では「生きがいづくり」が他の年齢に比べて多く回答されている。

##### ① スポーツに期待する効果・役割

スポーツに期待する効果・役割について、「プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化」が26.4%と最も多く、次いで「生きがいづくり」が22.6%、「仲間づくり」が18.3%となっています。

【図表3-17 スポーツに期待する効果・役割】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## ② 年齢別のスポーツに期待する効果・役割

スポーツに期待する効果・役割を年齢別にみると、特に「30歳代」は「親子や家族の交流」が全体よりも10ポイント以上高くなっています。

【図表3-18 年齢別スポーツに期待する効果・役割】

|        | 回答数(件)    | プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地元経済の活性化 | 市内でのスポーツ合宿実施や、全国大会・県大会などの開催による交流人口の拡大 | 地元企業によるスポーツイベントへの支援の拡充 | スポーツに関連した産業の発達 | 国際交流・国際親善 |
|--------|-----------|-----------------------------|---------------------------------------|------------------------|----------------|-----------|
| 20歳代以下 | 80        | 31.3                        | 11.3                                  | 8.8                    | 8.8            | 6.3       |
| 30歳代   | 128       | 26.6                        | 10.9                                  | 12.5                   | 14.8           | 3.9       |
| 40歳代   | 143       | 32.2                        | 16.8                                  | 16.1                   | 7.0            | 4.9       |
| 50歳代   | 170       | 31.2                        | 13.5                                  | 9.4                    | 12.4           | 7.6       |
| 60歳代   | 188       | 28.7                        | 10.6                                  | 8.5                    | 4.3            | 6.9       |
| 70歳以上  | 261       | 16.9                        | 10.3                                  | 7.3                    | 4.6            | 6.9       |
|        | 地域の魅力発信   | 地域コミュニティの創造                 | 仲間づくり                                 | 青少年の健全育成               | 親子や家族の交流       | 生きがいづくり   |
| 20歳代以下 | 10.0      | 3.8                         | 26.3                                  | 5.0                    | 5.0            | 15.0      |
| 30歳代   | 3.9       | 7.8                         | 23.4                                  | 14.1                   | 31.3           | 21.1      |
| 40歳代   | 5.6       | 9.8                         | 15.4                                  | 11.9                   | 17.5           | 20.3      |
| 50歳代   | 8.8       | 4.7                         | 17.1                                  | 8.8                    | 5.9            | 23.5      |
| 60歳代   | 7.4       | 10.1                        | 13.8                                  | 14.4                   | 6.4            | 25.0      |
| 70歳以上  | 10.7      | 11.5                        | 19.2                                  | 16.5                   | 6.1            | 24.9      |
|        | 余暇時間の有効利用 | 地域の健康水準向上                   | 世代間交流の促進                              | 何も期待しない                | その他            | 無回答       |
| 20歳代以下 | 22.5      | 13.8                        | 2.5                                   | 16.3                   | 1.3            | 0.0       |
| 30歳代   | 14.8      | 14.8                        | 3.1                                   | 10.2                   | 0.8            | 0.0       |
| 40歳代   | 23.1      | 14.0                        | 2.8                                   | 11.2                   | 0.7            | 0.0       |
| 50歳代   | 14.7      | 16.5                        | 4.7                                   | 11.8                   | 1.8            | 3.5       |
| 60歳代   | 25.5      | 18.1                        | 3.2                                   | 8.0                    | 0.5            | 6.4       |
| 70歳以上  | 12.3      | 23.8                        | 8.0                                   | 8.0                    | 2.7            | 13.8      |

(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## (5) 競技スポーツに関して

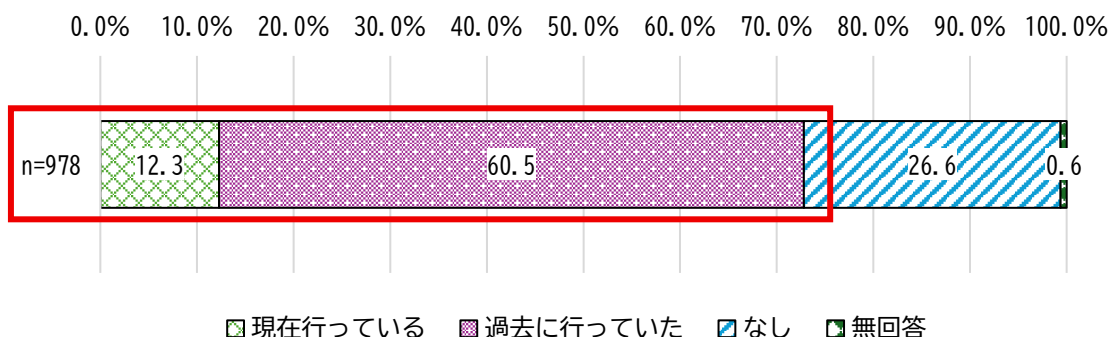
### 〈特徴〉

- ・ 競技スポーツの経験者（過去に行っていた人も含む）は全体の7割以上。
- ・ 現在も競技スポーツを行っている人は、日常生活で充実感を感じている人が9割と多い。
- ・ 袋井市の競技力向上のために必要な手法は、「施設の充実や環境の整備を図る」や「指導者の資質向上を図る」が上位回答となっている。
- ・ 選手や団体が大会で活躍することに関心は、64.7%と高い。

### ① 競技スポーツの経験

競技スポーツの経験について、「現在行っている」が12.3%、「過去に行っていた」が60.5%、「なし」が26.6%となっています。

【図表3-19 競技スポーツの経験】

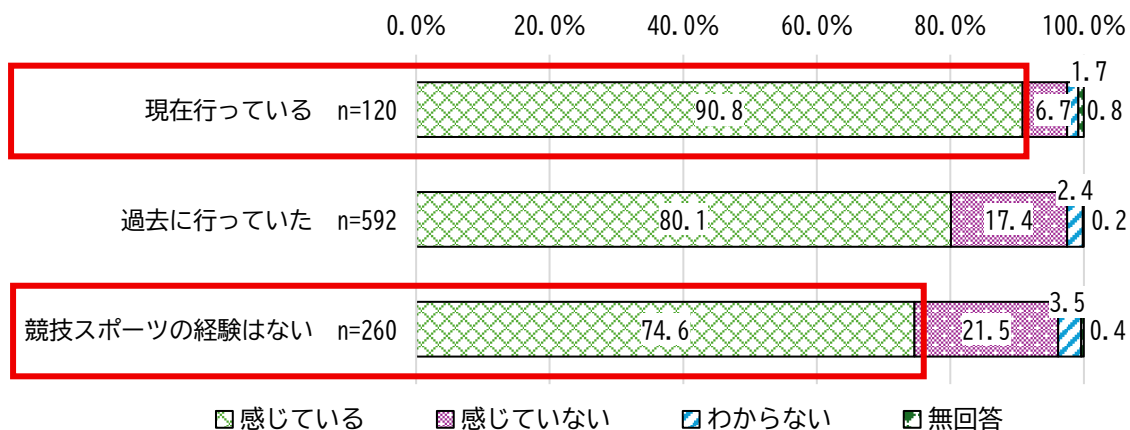


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ② 競技スポーツ経験別の日常生活における充実感

競技スポーツ経験別に日常生活における充実感をみると、競技スポーツを「現在行っている」人は、日常生活における充実感を「感じている」が90.8%となっており、「競技スポーツの経験はない」人（74.6%）に比べて16.2ポイント高くなっています。

【図表3-20 競技スポーツ経験別の日常生活における充実感】

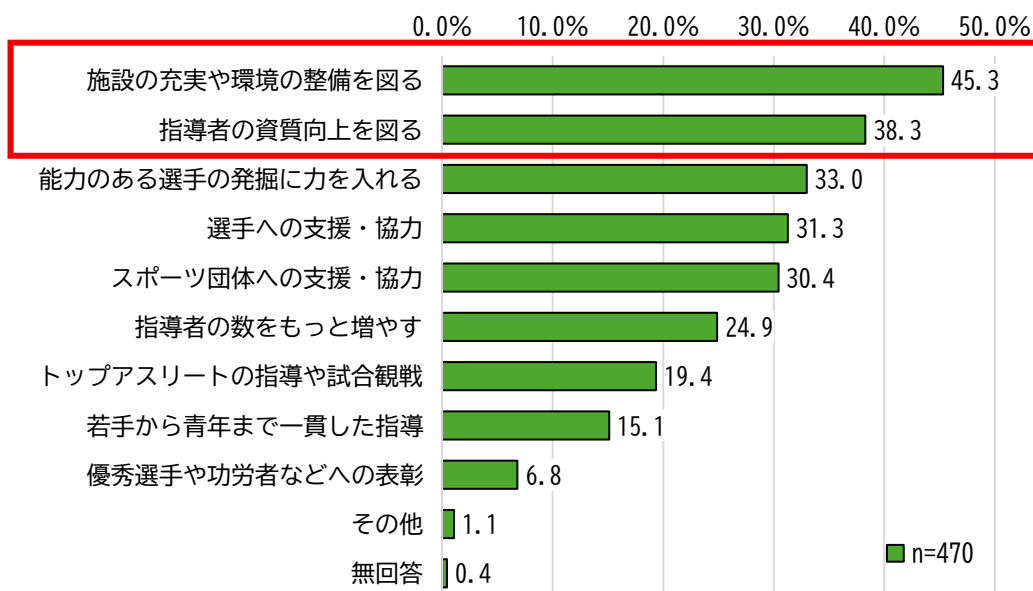


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ③ 袋井市の競技力向上のために必要な手法

袋井市の競技力向上のために必要な手法について、「施設の充実や環境の整備を図る」が45.3%と最も高く、次いで「指導者の資質向上を図る」が38.3%、「能力のある選手の発掘に力を入れる」が33.0%となっています。

【図表3-21 袋井市の競技力向上のために必要な手法】



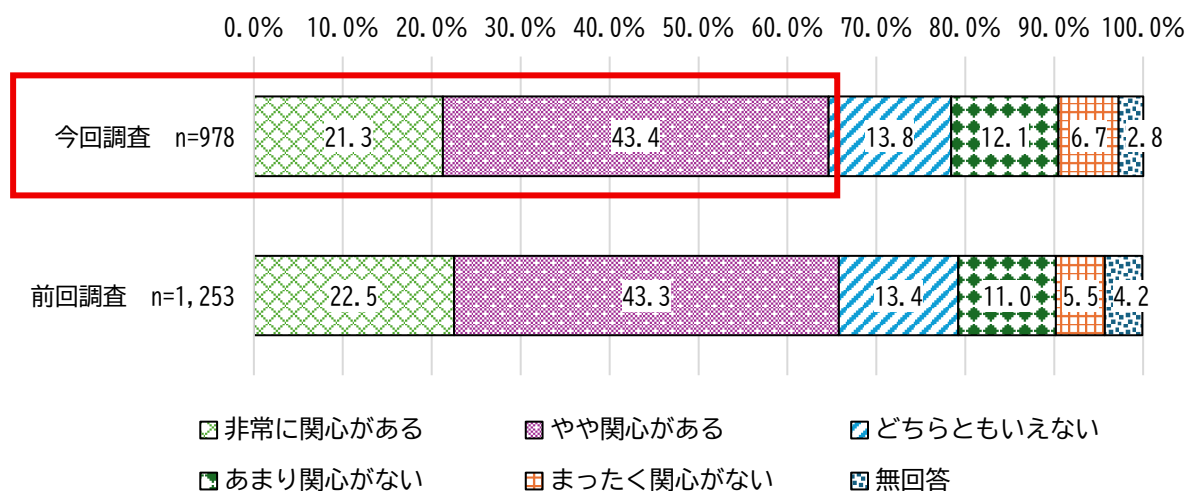
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ④ 袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心

袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心について、“関心がある”（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が64.7%、“関心がない”（「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の合計）が18.8%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-22 袋井市内の選手や団体が大会で活躍することへの関心】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## (6) パラスポーツに関して

### 〈特 徴〉

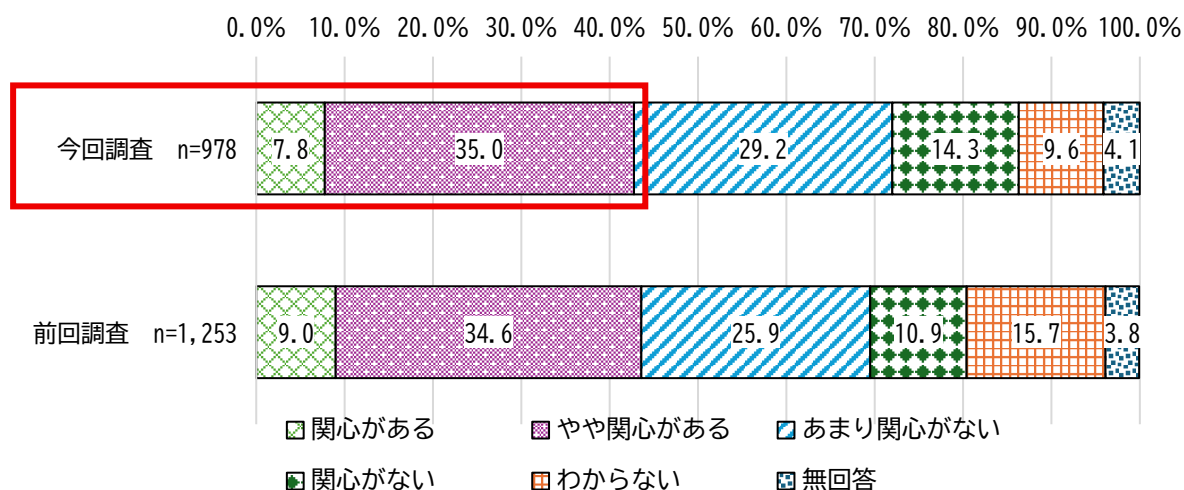
- ・パラスポーツに関心のある人は4割。パラスポーツを体験したことがない人が9割。
- ・パラスポーツについて、実際に観戦または見たことがある人は1.1%。

### ① パラスポーツへの関心

パラスポーツへの関心について、“関心がある”（「関心がある」と「やや関心がある」の合計）が42.8%、“関心がない”（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）が43.5%となっています。

前回調査と比較すると、“関心がない”人は6ポイント以上増加しています。（今回調査：43.5%、前回調査：36.8%）

【図表3-23 パラスポーツへの関心】



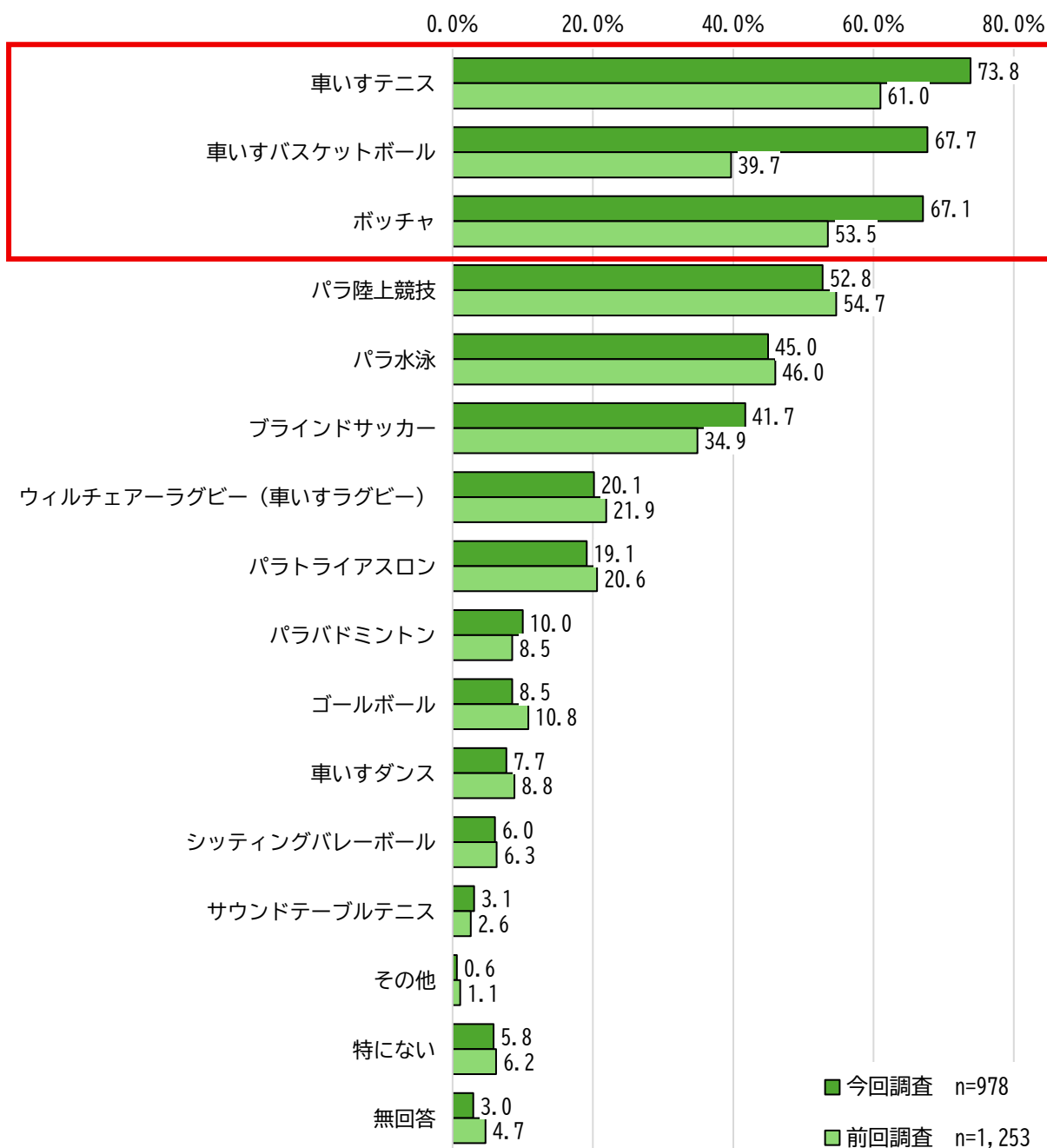
（資料）第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

② 知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技

知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技について、「車いすテニス」が73.8%と最も高く、次いで「車いすバスケットボール」が67.7%、「ボッチャ」が67.1%となっています。

前回調査と比較すると、「車いすテニス」、「車いすバスケットボール」、「ボッチャ」が10ポイント以上増加しています。

【図表3-24 知っているまたは聞いたことがあるパラスポーツ競技】

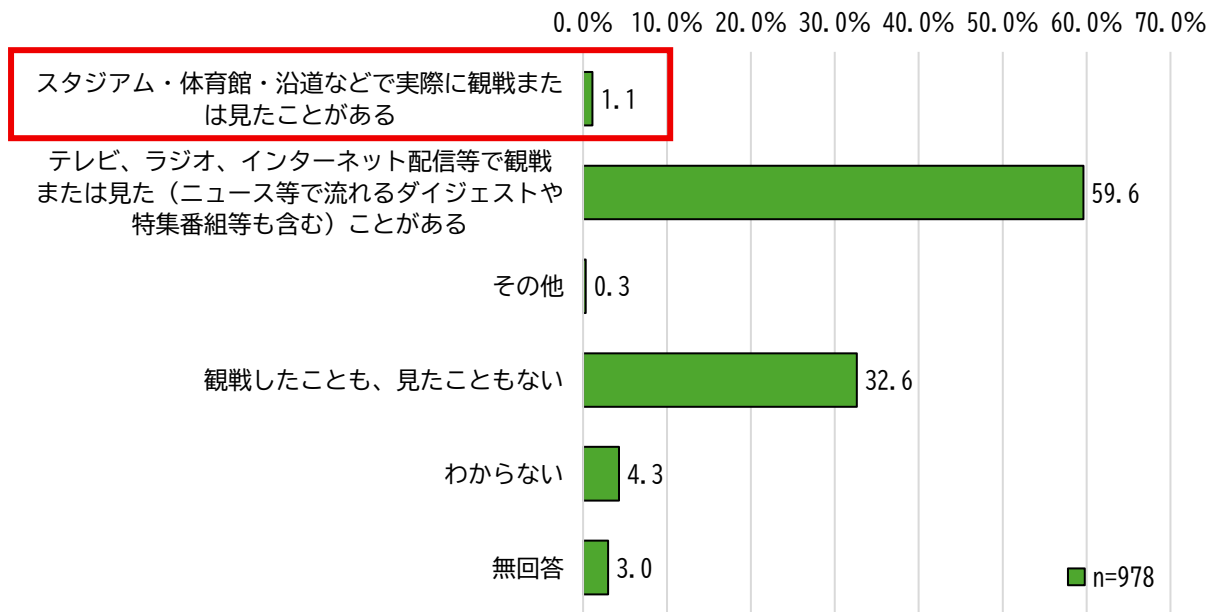


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ③ パラスポーツやパラリンピック競技種目の観戦経験

パラスポーツやパラリンピック競技種目の観戦経験について、「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある（以下、「現地観戦」）」が1.1%、「テレビ、ラジオ、インターネット配信等で観戦または見た（ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等も含む）ことがある」が59.6%、「観戦したことも、見たこともない」が32.6%となっています。

【図表3-25 パラスポーツやパラリンピック競技種目の観戦経験】



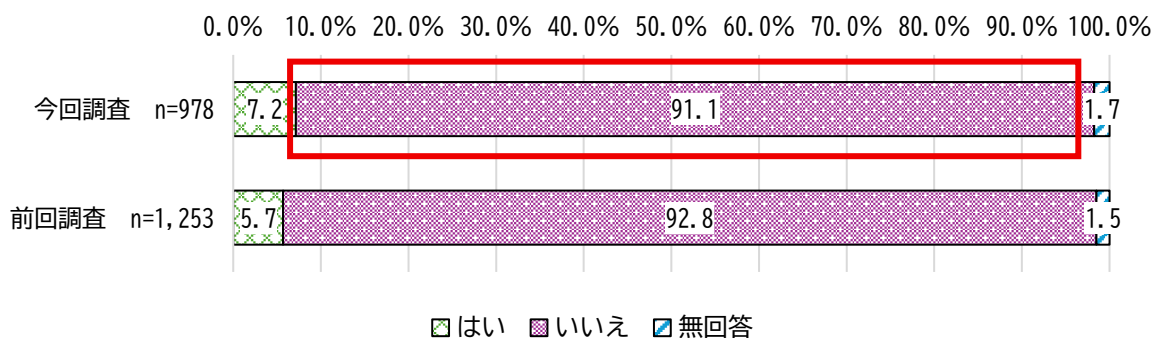
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### ④ パラスポーツの体験・経験の有無

パラスポーツを体験・経験したことがあるかについて、「はい」が7.2%、「いいえ」が91.1%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-26 パラスポーツの体験・経験の有無】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## (7) 「誰もがアクセスできる」スポーツ環境の整備に関して

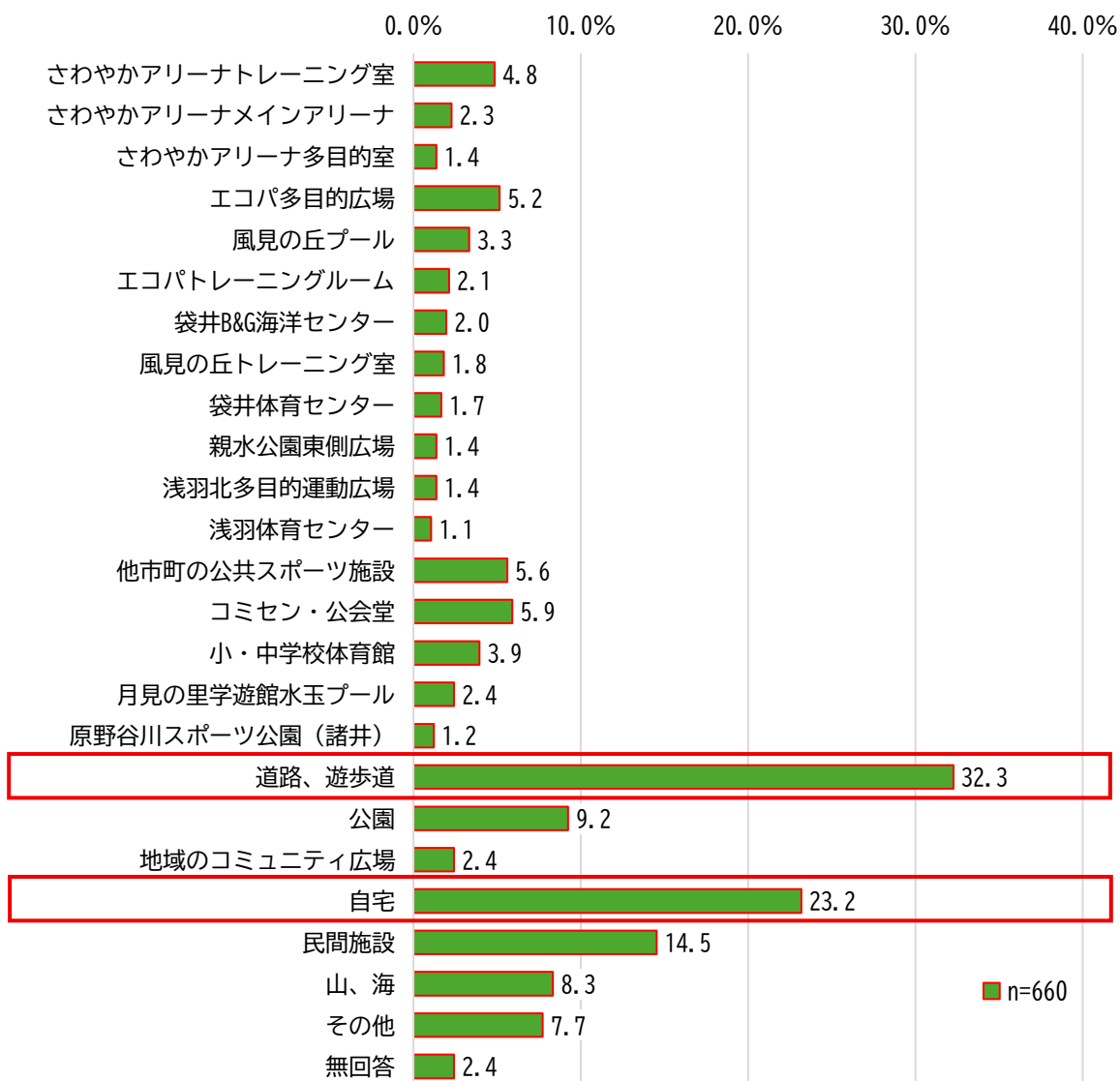
### 〈特 徴〉

- ・スポーツをした場所は、「道路、遊歩道」が3割、「自宅」が2割と、身近な場所が多い。
- ・市内の公共スポーツ施設は、数も質も充実していると思う人が3割と最も多い。
- ・情報の入手手段として「市発行の広報誌」の希望が高い。若い年代では「インターネット・SNS」の希望も高い。

### ① スポーツや運動を行った場所

1年間に何らかのスポーツや運動をしたと答えた人に、スポーツや運動を行った場所を尋ねると、「道路、遊歩道」が32.3%と最も高く、次いで「自宅」が23.2%、「民間施設」が14.5%となっています。

【図表3-27 スポーツや運動を行った場所】



※回答割合が1%以上だったもののみを表示している

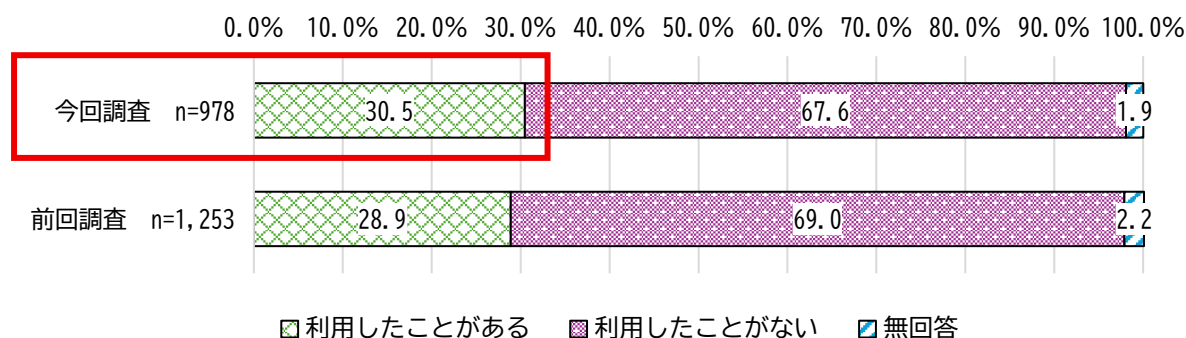
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## ② 公共スポーツ施設の利用

公共スポーツ施設の利用について、「利用したことがある」が30.5%、「利用したことがない」が67.6%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-28 公共スポーツ施設の利用】



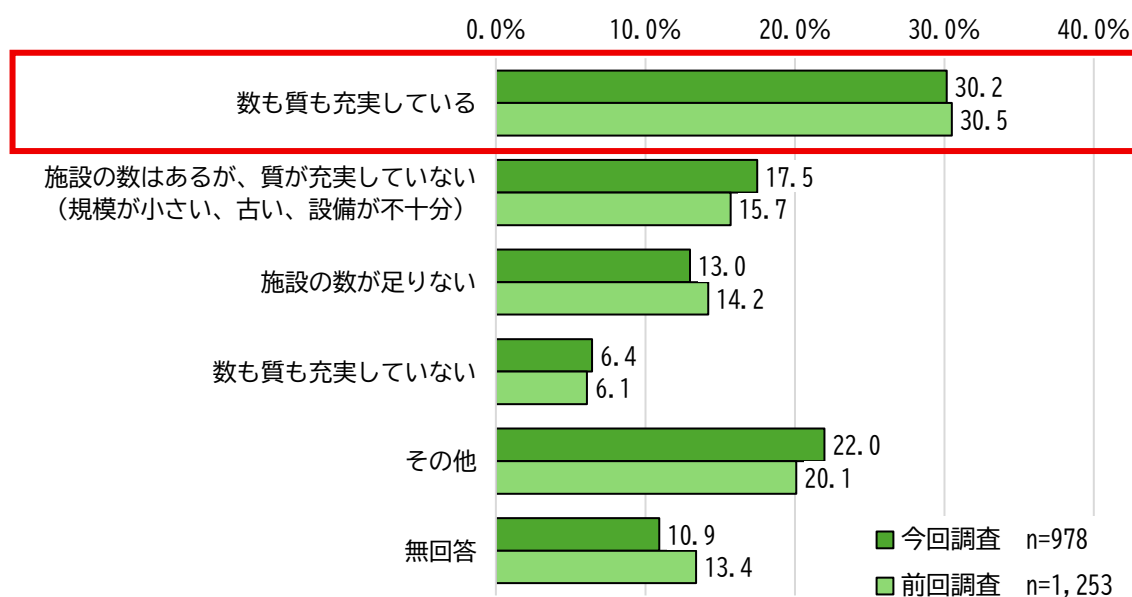
(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## ③ 公共スポーツ施設の充実度

公共スポーツ施設の充実度について、「数も質も充実している」が30.2%と最も高く、次いで「その他」が22.0%、「施設の数はあるが、質が充実していない（規模が小さい、古い、設備が不十分）」が17.5%となっています。

前回調査と比較すると、今回調査と前回調査では大きな差はみられません。

【図表3-29 公共スポーツ施設の充実度】

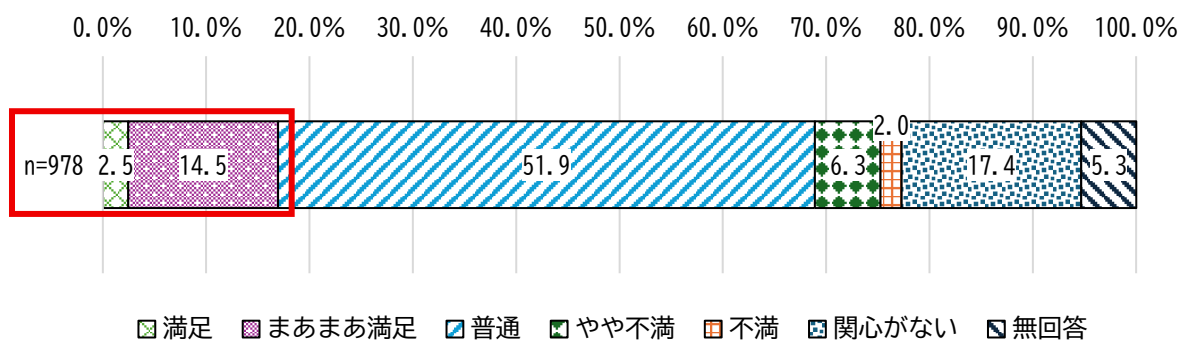


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

#### ④ 袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度

袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度について、“満足”（「満足」と「まあまあ満足」の合計）が17.0%、“不満”（「やや不満」と「不満」の合計）が8.3%となっています。

【図表3-30 袋井市からのスポーツ関連の情報提供の満足度】

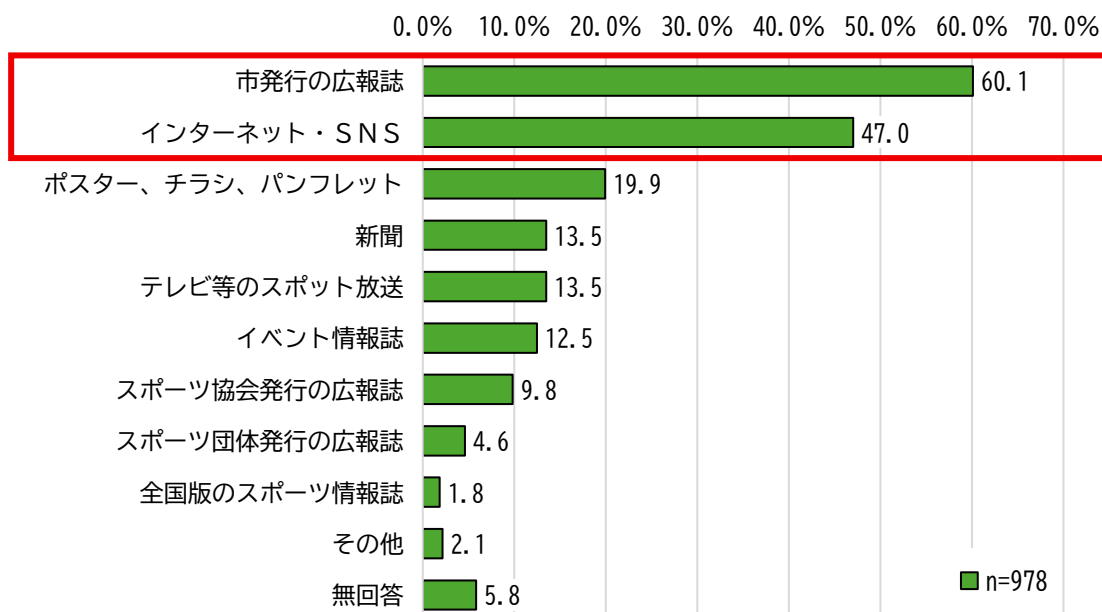


(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

#### ⑤ 望ましいスポーツ情報の発信方法

望ましい袋井市からのスポーツ情報の発信方法について、「市発行の広報誌」が60.1%と最も多く、次いで「インターネット・SNS」が47.0%、「ポスター、チラシ、パンフレット」が19.9%となっています。

【図表3-31 望ましいスポーツ情報の発信方法】



(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

## ⑥ 年齢別望ましいスポーツ情報の発信方法

望ましい袋井市からのスポーツ情報の発信方法を年齢別にみると、特に50歳代以上では「市発行の広報誌」、40歳代以下では「インターネット・SNS」が最も多くなっています。

【図表3-32 年齢別望ましいスポーツ情報の発信方法】

|        | 回答数(件)  | 市発行の広報誌     | スポーツ協会発行の広報誌 | スポーツ団体発行の広報誌 | 新聞   | ポスター、チラシ、パンフレット |
|--------|---------|-------------|--------------|--------------|------|-----------------|
| 20歳代以下 | 80      | 35.0        | 2.5          | 1.3          | 8.8  | 18.8            |
| 30歳代   | 128     | 53.1        | 7.8          | 5.5          | 7.8  | 22.7            |
| 40歳代   | 143     | 59.4        | 6.3          | 4.2          | 9.1  | 17.5            |
| 50歳代   | 170     | 61.8        | 10.6         | 5.3          | 18.8 | 23.5            |
| 60歳代   | 188     | 67.0        | 11.2         | 2.7          | 14.9 | 19.7            |
| 70歳以上  | 261     | 66.7        | 13.8         | 6.1          | 16.1 | 18.4            |
|        | イベント情報誌 | インターネット・SNS | テレビ等のスポット放送  | 全国版のスポーツ情報誌  | その他  | 無回答             |
| 20歳代以下 | 11.3    | 71.3        | 21.3         | 3.8          | 0.0  | 0.0             |
| 30歳代   | 8.6     | 77.3        | 16.4         | 2.3          | 3.1  | 1.6             |
| 40歳代   | 9.8     | 65.7        | 12.6         | 0.7          | 4.2  | 3.5             |
| 50歳代   | 18.2    | 53.5        | 15.3         | 4.1          | 1.2  | 2.4             |
| 60歳代   | 12.8    | 37.2        | 15.4         | 2.1          | 1.1  | 6.4             |
| 70歳以上  | 12.6    | 18.4        | 7.7          | 0.0          | 2.7  | 11.5            |

(資料) 第5次袋井市スポーツ推進計画策定等に係る市民意識調査

### 3 2024年度（令和6年度）全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果

#### (1) こどもの体力状況について

##### ア 小学5年生男子

こどもの体力状況について、小学校5年生男子では「長座体前屈」、「50m走」、「立ち幅跳び」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-1 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（小学校5年生男子）】

| 区分             |     | 種目 | 握力<br>(kg) | 上体<br>起こし<br>(回) | 長座<br>体前屈<br>(cm) | 反復<br>横とび<br>(点) | 20m<br>シャトル<br>ラン<br>(回) | 50m走<br>(秒) | 立ち幅<br>とび<br>(cm) | ソフト<br>ボール<br>投げ<br>(m) |
|----------------|-----|----|------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------------|-------------|-------------------|-------------------------|
| 男子<br>(小学校5年生) | 袋井市 |    | 15.14      | 18.24            | 34.05             | 40.11            | 45.26                    | 9.44        | 150.97            | 19.22                   |
|                | 静岡県 |    | 15.68      | 18.45            | 32.23             | 40.52            | 47.05                    | 9.58        | 150.35            | 19.69                   |
|                | 全国  |    | 16.01      | 19.19            | 33.79             | 40.66            | 46.9                     | 9.50        | 150.42            | 20.75                   |
|                | 比較  | 県  | ●          | ●                | ○                 | ●                | ●                        | ○           | ○                 | ●                       |
| 全国             |     | ●  | ●          | ○                | ●                 | ●                | ○                        | ○           | ●                 |                         |

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。

##### イ 小学5年生女子

こどもの体力状況について、小学校5年生女子では「長座体前屈」、「反復横とび」、「50m走」、「立ち幅跳び」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-2 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（小学校5年生女子）】

| 区分             |     | 種目 | 握力<br>(kg) | 上体<br>起こし<br>(回) | 長座<br>体前屈<br>(cm) | 反復<br>横とび<br>(点) | 20m<br>シャトル<br>ラン<br>(回) | 50m走<br>(秒) | 立ち幅<br>とび<br>(cm) | ソフト<br>ボール<br>投げ<br>(m) |
|----------------|-----|----|------------|------------------|-------------------|------------------|--------------------------|-------------|-------------------|-------------------------|
| 女子<br>(小学校5年生) | 袋井市 |    | 14.99      | 17.61            | 38.86             | 39.05            | 35.31                    | 9.71        | 145.65            | 13.08                   |
|                | 静岡県 |    | 15.61      | 17.54            | 36.96             | 38.97            | 37.97                    | 9.79        | 144.48            | 13.30                   |
|                | 全国  |    | 15.77      | 18.16            | 38.19             | 38.7             | 36.59                    | 9.77        | 143.13            | 13.15                   |
|                | 比較  | 県  | ●          | ○                | ○                 | ○                | ●                        | ○           | ○                 | ●                       |
| 全国             |     | ●  | ●          | ○                | ○                 | ●                | ○                        | ○           | ●                 |                         |

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。

## ウ 中学2年生男子

こどもの体力状況について、中学校2年生男子では「握力」、「反復横とび」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-3 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（中学校2年生男子）】

| 区分             |    | 種目  | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 持久走 (秒) | 20m シャトルラン (回) | 50m 走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ハンドボール投げ (m) |
|----------------|----|-----|---------|-----------|------------|-----------|---------|----------------|-----------|------------|--------------|
| 男子<br>(中学校2年生) |    | 袋井市 | 30.06   | 25.10     | 44.23      | 53.30     | 403.45  | 45.50          | 8.04      | 199.09     | 19.87        |
|                |    | 静岡県 | 28.84   | 26.05     | 44.98      | 51.82     | 402.97  | 78.08          | 7.94      | 199.15     | 20.52        |
|                |    | 全国  | 28.95   | 25.94     | 44.47      | 51.51     | 410.69  | 78.98          | 7.99      | 197.18     | 20.57        |
|                | 比較 | 県   | ○       | ●         | ●          | ○         | ●       | ●              | ●         | ●          | ●            |
| 全国             |    | ○   | ●       | ●         | ○          | ○         | ●       | ●              | ○         | ●          |              |

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。

## エ 中学2年生女子

こどもの体力状況について、中学校2年生女子では「握力」、「長座体前屈」、「反復横とび」、「持久走」、「立ち幅とび」の結果が全国、静岡県をともに上回っています。

【図表3-33-4 体力・運動能力・運動習慣等調査結果（中学校2年生女子）】

| 区分             |    | 種目  | 握力 (kg) | 上体起こし (回) | 長座体前屈 (cm) | 反復横とび (点) | 持久走 (秒) | 20m シャトルラン (回) | 50m 走 (秒) | 立ち幅とび (cm) | ハンドボール投げ (m) |
|----------------|----|-----|---------|-----------|------------|-----------|---------|----------------|-----------|------------|--------------|
| 女子<br>(中学校2年生) |    | 袋井市 | 24.01   | 20.50     | 47.14      | 47.14     | 299.16  | —              | 8.96      | 171.15     | 12.06        |
|                |    | 静岡県 | 23.15   | 21.36     | 47.05      | 45.93     | 305.04  | 50.71          | 8.90      | 169.76     | 12.77        |
|                |    | 全国  | 23.18   | 21.56     | 46.47      | 45.65     | 309.02  | 50.67          | 8.96      | 166.32     | 12.40        |
|                | 比較 | 県   | ○       | ●         | ○          | ○         | ○       | —              | ●         | ○          | ●            |
| 全国             |    | ○   | ●       | ○         | ○          | ○         | —       | △              | ○         | ●          |              |

※○は市の記録が上回っている。●は市の記録が下回っている。△は同記録。

## (2) こどもの運動やスポーツへの興味・関心について

### 【参考とするアンケート項目】

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

### ア 小学5年生男子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、小学校5年生男子では“好き（「好き」＋「やや好き」の合計）”の割合が92.7%と、全国、静岡県に比べてやや低くなっています。

【図表3-34-1 運動やスポーツへの興味・関心（小学校5年生男子）】

|      | 袋井市   | 静岡県   | 全国    |
|------|-------|-------|-------|
| 好き   | 71.1% | 72.6% | 73.0% |
| やや好き | 21.6% | 21.4% | 20.2% |
| やや嫌い | 5.0%  | 4.2%  | 4.5%  |
| 嫌い   | 2.2%  | 1.9%  | 2.2%  |

### イ 小学5年生女子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、小学校5年生女子では“好き（「好き」＋「やや好き」の合計）”の割合が85.3%と、全国、静岡県に比べてやや低くなっています。

【図表3-34-2 運動やスポーツへの興味・関心（小学校5年生女子）】

|      | 袋井市   | 静岡県   | 全国    |
|------|-------|-------|-------|
| 好き   | 54.4% | 54.7% | 54.8% |
| やや好き | 30.9% | 31.9% | 31.4% |
| やや嫌い | 9.6%  | 9.4%  | 9.5%  |
| 嫌い   | 5.1%  | 4.0%  | 4.3%  |

## ウ 中学2年生男子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、中学校2年生男子では“好き(「好き」+「やや好き」の合計)”の割合が92.4%と、全国、静岡県に比べて高くなっています。

【図表3-34-3 運動やスポーツへの興味・関心(中学校2年生男子)】

|      | 袋井市   | 静岡県   | 全国    |
|------|-------|-------|-------|
| 好き   | 67.8% | 66.3% | 65.5% |
| やや好き | 24.6% | 24.7% | 25.1% |
| やや嫌い | 5.6%  | 6.2%  | 6.3%  |
| 嫌い   | 2.0%  | 2.8%  | 3.2%  |

## エ 中学2年生女子

こどもの運動やスポーツへの興味・関心について、中学校2年生女子では“好き(「好き」+「やや好き」の合計)”の割合が83.1%と、全国、静岡県に比べて高くなっています。

【図表3-34-4 運動やスポーツへの興味・関心(中学校2年生女子)】

|      | 袋井市   | 静岡県   | 全国    |
|------|-------|-------|-------|
| 好き   | 49.4% | 41.1% | 43.2% |
| やや好き | 33.7% | 34.7% | 33.7% |
| やや嫌い | 12.2% | 16.2% | 15.2% |
| 嫌い   | 4.7%  | 8.0%  | 8.0%  |

## 4 第4次計画の検証・評価と現状

第4次袋井市スポーツ推進計画では、「する・観る・支える」の3つを視点に、(1)多様性に応じたスポーツ活動の推進、(2)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の提供、(3)スポーツ活動を支える環境の充実、(4)アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出、(5)スポーツを通じた地域の活性化の5つを基本目標として掲げ、各種施策を展開してきました。

各目標に対する検証・評価結果と現状は以下のとおりです。

【図表3-35 評価基準】

- ◎・・・目標値を達成した
- ・・・目標値を達成していないが、基準値と比較して向上した
- △・・・基準値と同等または若干低下した
- ×・・・基準値と比較し低下

### 基本目標1 多様性に応じたスポーツ活動の推進

#### 〈数値目標の進捗〉

- 成人のスポーツ実施率（週1回以上）、子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上）、障がい者スポーツ大会参加者数は、基準時から低下傾向にあります。
- 新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合、「運動が好き」と答える児童生徒の割合は、基準時から維持傾向にあります。

【図表3-36 基本目標1 多様性に応じたスポーツ活動の推進の達成状況】

| 評価指標                          | 基準値                  | 現状値                  |                      |                      |                      | 目標値<br>2025年<br>(令和7年) | 評価 |
|-------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|----|
|                               |                      | 2021年<br>(令和3年)      | 2022年<br>(令和4年)      | 2023年<br>(令和5年)      | 2024年<br>(令和6年)      |                        |    |
| 成人のスポーツ実施率（週1回以上）             | 57.8%<br>(令和2年)      | 53.5%                | 51.6%                | 49.5%                | 46.5%                | 65.0%                  | ×  |
| 子育て世代（30～40歳代）のスポーツ実施率（週1回以上） | 50.9%<br>(令和2年)      | 38.9%                | 36.6%                | 35.0%                | 28.8%                | 58.0%                  | ×  |
| 新体力テストで全国の平均を上回る種目の割合（小5・中2）  | 37.5%<br>12/32<br>種目 | 53.1%<br>17/32<br>種目 | 43.8%<br>14/32<br>種目 | 40.6%<br>13/32<br>種目 | 50.0%<br>16/32<br>種目 | 68.8%<br>22/32<br>種目   | ○  |
| 「運動が好き」と答える児童生徒の割合（小5・中2）     | 86.7%                | 83.9%                | 84.5%                | 87.1%                | 88.4%                | 92.0%                  | ○  |
| 障がい者スポーツ大会参加者数                | 53人                  | 中止                   | 26人                  | 28人                  | 29人                  | 65人                    | ×  |

## 〈取組状況〉

- 幼稚園や保育園、こども園、小学校、コミュニティセンター等への出前教室や親子スポーツ教室を実施するとともに、市ホームページ等を活用して情報発信しています。
- こどもの体力・運動能力向上に向けて、アクティブ育児応援プログラム推進事業を実施するとともに、プロスポーツチームやトップアスリートの協力によるスポーツ教室や指導者派遣を幼稚園や保育園、こども園、小・中学校などで実施しています。
- 「#2961 ウオーク」（スマホを活用した健康づくりサービス）の機能拡充やPRにより、登録者数は年々増加傾向にあり、働く世代の健康づくりの意識醸成に貢献しています。

## 基本目標2 誰もが気軽に取組めるスポーツ環境の提供

### 〈数値目標の進捗〉

- 袋井クラウンメロンマラソンの参加者数、ウォーキングキャラバンの参加者数、市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数は、基準時より減少傾向にあります。コロナ禍によるスポーツイベントの中止や規模の縮小も要因と考えられます。

【図表3-37 基本目標2 誰もが気軽に取組めるスポーツ環境の提供の達成状況】

| 評価指標                              | 基準値    | 現状値   |                 |                 |                 | 目標値<br>2025年<br>(令和7年) | 現状値 |
|-----------------------------------|--------|---|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------|-----|
|                                   |        | 2021年<br>(令和3年)                             | 2022年<br>(令和4年) | 2023年<br>(令和5年) | 2024年<br>(令和6年) |                        |     |
| 袋井クラウンメロンマラソンの参加者※                | 6,941人 | 計2,466人<br>566人<br>(リモート)<br>1,900人<br>(実走) | 1,701人<br>(実走)  | 2,352人<br>(実走)  | 3,107人<br>(実走)  | 7,500人                 | ×   |
| ウォーキングキャラバンの参加者                   | 995人   | 746人  | 939人            | 952人            | 892人            | 1,100人                 | △   |
| 市内のスポーツ関連イベント等が新聞・テレビなどで取り上げられた回数 | 64回    | 35回   | 55回             | 61回             | 45回             | 70回                    | ×   |

※2022年(令和4年)、2023年(令和5年)はフルマラソンが開催されなかったため、現状値はハーフマラソン参加者数を記載。(各年度ともフルマラソンおよびハーフマラソン以外の種目参加者数も含む。)

## 〈取組状況〉

- 市スポーツ協会が主催する袋井クラウンメロンマラソンや地区まちづくり協議会が主催するウォーキングキャラバンの開催を支援しています。
- さわやかアリーナほか、各スポーツ施設の指定管理者により、市民ニーズに応じた各種スポーツ教室を開催しています。
- 地域のスポーツ活動を効果的に支えるため、市ホームページやメローねっとを活用した情報発信に努めています。

## 基本目標3 スポーツ活動を支える環境の充実

### 〈数値目標の進捗〉

- スポーツボランティア登録数は基準時より大幅に増加しているものの、実際に参加したことがある人の割合は低下しています。コロナ禍によるイベントの自粛により活動機会が減少したことも要因と考えられます。
- 市内運動施設の利用者数は、基準時より増加傾向にあります。ICTを活用した予約システムの導入や市・指定管理者による各種スポーツ教室の開催などが、利用者増加につながっています。

【図表3-38 基本目標3 スポーツ活動を支える環境の充実の達成状況】

| 評価指標                              | 基準値             | 現状値             |                 |                 |                 | 目標値<br>2025年<br>(令和7年) | 現状値 |
|-----------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------|-----|
|                                   |                 | 2021年<br>(令和3年) | 2022年<br>(令和4年) | 2023年<br>(令和5年) | 2024年<br>(令和6年) |                        |     |
| スポーツボランティア登録数                     | 27人             | 44人             | 49人             | 49人             | 110人            | 55人                    | ◎   |
| スポーツの大会やイベントにボランティアとして参加したことがある割合 | 21.9%<br>(令和2年) | —               | —               | —               | 19.0%           | 32.0%                  | △   |
| 市内運動施設の利用者数                       | 551,962人        | 583,346人        | 692,561人        | 741,335人        | 775,139人        | 625,000人               | ◎   |

### 〈取組状況〉

- 市や指定管理者により、常に市民ニーズを捉えた各種教室や親子スポーツ教室を開催するとともに、施設の適切な維持・管理・運営に努めています。
- 学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、地域へのスポーツの普及と振興に努めています。
- さわやかアリーナでは、パラスポーツフェスティバルやラグビーワールドカップ2023パブリックビューイングのほか、スポーツ分野以外にも住宅フェスティバルやジムニー集会などを積極的に開催支援し、幅広い年齢層の市民に利用していただきました。
- 2022年度(令和4年度)に学校体育施設や指定管理者の管理する公共スポーツ施設においてパソコンやスマートフォンから施設予約ができるシステムを導入しました。
- スポーツ環境を維持するため、スポーツ施設3Rプロジェクトに基づく計画的な施設修繕、学校体育施設のグラウンド夜間照明のLED化を実施しました。
- スポーツ施設への感染対策用品の配布も行い、安全な環境を提供しました。

## 基本目標4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出

### 〈数値目標の進捗〉

- スポーツ指導者派遣回数は、ニュースポーツやエアロビックのほか、プロスポーツチームによるスポーツ教室の開催などにより、増加しています。
- 全国スポーツ大会の出場者数および、スポーツ指導者育成事業助成金交付件数は、年度によって増減があるものの、基準時より減少しています。

【図表3-39 基本目標4 アスリートの育成とトップスポーツに触れる機会の創出の達成状況】

| 評価指標               | 基準値  | 現状値             |                 |                 |                 | 目標値<br>2025年<br>(令和7年) | 現状値 |
|--------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------|-----|
|                    |      | 2021年<br>(令和3年) | 2022年<br>(令和4年) | 2023年<br>(令和5年) | 2024年<br>(令和6年) |                        |     |
| スポーツ指導者派遣回数        | 170件 | 98件             | 177件            | 190件            | 199件            | 190件                   | ◎   |
| 全国スポーツ大会の出場者数      | 59件  | 44件             | 56件             | 60件             | 45件             | 70件                    | △   |
| スポーツ指導者育成事業助成金交付件数 | 9件   | 13件             | 24件             | 11件             | 6件              | 27件                    | △   |

### 〈取組状況〉

- 市内小中学校や幼稚園、保育園、こども園、地区まちづくり協議会などを対象にニュースポーツやエアロビックなど、指導者派遣事業を実施しています。  
また、プロスポーツチームとの連携によるスポーツ教室の開催などにより、こどものスポーツへの関心や競技レベル向上を図っています。
- オリンピックを講師とした中学生向け講座の開催や、トップアスリートとの交流により、ジュニアアスリートの育成を支援しています。
- こどもの豊かなスポーツ活動を実現するため、教育委員会と連携し、市内中学校の運動部活動に外部指導者を派遣しました。また、部活動の地域展開に向けたワーキングや協議会を開催するとともに、公共スポーツ施設の指定管理者と連携した部活動の支援、指導者育成講座を実施しています。

## 基本目標5 スポーツを通じた地域の活性化

### 〈数値目標の進捗〉

○さわやかアリーナでのトップレベルの試合等の開催回数は、基準時より増加傾向にあるものの、さわやかアリーナまたはエコパで観戦した市民の割合は、基準時より減少しています。コロナ禍によるスポーツイベントの中止や規模の縮小も要因と考えられます。

【図表3-40 基本目標5 スポーツを通じた地域の活性化の達成状況】

| 評価指標  | 基準値             | 現状値             |                 |                 |                 | 目標値<br>2025年<br>(令和7年) | 現状値 |
|---|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------|-----|
|   |                 | 2021年<br>(令和3年) | 2022年<br>(令和4年) | 2023年<br>(令和5年) | 2024年<br>(令和6年) |                        |     |
| この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」またはエコパで観戦した割合             | 27.1%<br>(令和2年) | —               | —               | —               | 20.0%           | 40.0%                  | △   |
| この1年で総合体育館「さわやかアリーナ」でプロスポーツの試合や全国規模の大会を開催した回数 | 1回              | 2回              | 3回              | 2回              | 2回              | 6回                     | ○   |

### 〈取組状況〉

○袋井市とつながりのある（連携協定・ホームタウン）プロスポーツチーム等の観戦市民招待をはじめ、試合会場でのブース出展、さわやかアリーナでの全国大会などを通じて、観戦者へ観光情報等を積極的にPRしました。

○エコパのラグビー聖地化に向け、県などとの協働として、「JUNEPRIDE」をはじめ、多彩なイベントを開催し、ラグビーの魅力を引き出しています。

○さわやかアリーナやエコパなどの高規格施設が充実している強みを生かし、スポーツ合宿誘致を進めるため、アスリートを食で応援する「袋井スポーツ飯」の開発やスポーツ合宿補助金制度を創設しました。

## ◆5つの基本目標に関して

- 個々の取組の進捗に差はあるものの、コロナ禍でスポーツ活動が制約されたこともあり、全体として成果が評価指標に現れていないものが多くなっています。
- 今後は、現況や社会潮流を踏まえて既存の取組を改善するとともに、庁内部課間連携や官民連携により取組を効果的に推進する必要があります。

## 5 計画見直しの視点

### (1) ターゲットとなる層を意識した多様なスポーツ参加機会の創出

より多くの人々がスポーツに参加しやすくなり、健康増進を進めるため、日常生活の中でスポーツを行う障壁を取り除き、それぞれのライフステージやライフスタイルに合った適切な活動を提供することが重要です。

#### ① こどものスポーツへの関心や体力向上に向けた取組への支援

- 市はこれまでも、こどもの体力・運動能力向上に向けて、力を入れて取り組んでおりますが、スポーツが好きなこどもの割合は増加傾向にある一方で、児童・生徒の体力低下はすすんでいます。

今後において、生涯スポーツの振興や競技力の向上に向け、その基礎となるこどものスポーツ活動の充実を図るため、スポーツ推進員やプロスポーツチーム等と連携し、スポーツへの関心や体力向上に向けた取組を充実していく必要があります。

- 中学校の部活動地域展開に伴い、民間企業や市スポーツ協会など、スポーツ関係団体との連携により、スポーツ指導者の確保・育成や活動する場の確保など、地域の部活動の受け皿づくりが必要です。

#### ② 働く世代、子育て世代のスポーツ実施の促進

- 人生 100 年時代を豊かに生きるためには、すべての人の心身の健康増進が重要ですが、メタボリックシンドローム該当者の増加など、市民の健康状態の低下が懸念されています。

特に、30 歳から 40 歳代の働く世代のスポーツ実施率が年々低下し、低い状況であるため、働く世代や子育て世代へのスポーツ実施を促進する必要があります。

- 市はこれまで、市スポーツ協会などのスポーツ団体と連携した各種教室やイベントの開催、オンライン運動教室の開催や歩くのが楽しくなるスマートフォンアプリの普及等のデジタルの活用を進めてきました。今後もデジタルの活用をはじめ、親子や体験型のスポーツ教室・イベントなど、働く世代や子育て世代がスポーツに興味を持つきっかけを創り、行動へのハードルを下げる取組の強化を進めることが必要です。

- 過去 1 年間にスポーツを実施していない市民に関心の高いスポーツはウォーキングで、スポーツの実施頻度に関わらず、若い女性を中心に市民の関心の高いスポーツはヨガ、ピラティスとなっています。このことから、道路や公園、海岸などの公共空間を活用し、誰でも、いつでも、気軽にできるスポーツ環境の整備やスポーツ教室の開催など取組の充実が求められます。

### ③ 障がい者など、誰もがスポーツを楽しめる環境づくり

- 障がい者スポーツ大会への参加者数は減少傾向で、障がい者のスポーツへの参加は低い状況です。障がい者でも取り組みやすいプログラムや身近な場所でスポーツに親しめる機会の創出など、障がい者が身体を動かすための取組の充実が求められます。
- 障がい者のスポーツ活動を支える人材の確保や、教育・福祉等の庁内関係各課や地域のスポーツ団体と連携した取組など、障がい者がスポーツ活動を安心して楽しめるよう地域で支援することも必要です。
- パラスポーツの普及に向けた市の取組実績、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした共生社会の実現への機運の高まりによって、市民のパラスポーツの認知度は高まっているものの、観戦や実施の経験のある市民は少ない状況です。各種イベントや教室、指定管理者との連携により、パラスポーツに実際に触れる機会を増やすことが重要です。

### ④ スポーツ関連情報の集約と情報発信

- 全体として市発行の広報誌による情報発信を希望する市民は多いものの、若い世代ではインターネット・SNSの希望が高くなっています。ウェブ媒体と紙媒体とを組み合わせ、ターゲット層に合わせて適切に情報発信する必要があります。
- 個人が生活・興味に合う情報を入手できるよう、市の公共スポーツ施設の情報だけでなく、庁内関係各課や民間事業者も含めたスポーツ関連の情報を広く集約・発信する方法を検討することも望まれます。

## (2) 多様化するスポーツニーズに対応した環境づくり

---

多様化するスポーツニーズに対応するためには、多様なスポーツの普及と、それを実践できる場の提供が不可欠です。さらに、スポーツ活動を牽引する人材・団体の育成やアスリートの育成、市民の参加を支えるボランティアの存在が重要です。

### ① スポーツができる場の有効活用

- 市内のスポーツ施設は量質ともに充実しつつあり、さわやかアリーナを中心に多様なイベントを開催し、利用者数は増加しています。さわやかアリーナなどのスポーツ施設をはじめ、学校体育施設や公園、海岸など、市内での運動・スポーツのできる場について、各種プログラムの実施等による有効活用を図ると同時に、適切な維持管理、安全対策が求められます。

## ② 多様なスポーツの楽しみ方の提供

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、若者や女性を中心に、スケートボードなどのアーバンスポーツや、サーフィンなどのマリンスポーツへの関心が高まっています。楽しさや遊びの要素を取り入れた身体活動など、必要な環境を整え、多様なスポーツの普及を進める必要があります。
- コロナ禍が長引いたことで、市民のスポーツ活動の縮小が見られます。コロナ禍によるライフスタイルや価値観の変化、デジタル化の進展等に対応できるよう、一人でも実施できるスポーツ活動やデジタル技術を活用した取組を推進する必要があります。
- スポーツに関するデータの活用、VRを使ったリモートでも楽しめるプログラムやスポーツ実施機会の創出など、デジタル技術の活用によってより多くの人がスポーツを楽しめるよう研究する必要があります。

## ③ 技術力の向上による地域のスポーツ活動の旗手の育成

- トップアスリートの誕生は、市の認知度向上はもちろん、スポーツで培われた技術や経験が地域に還元されることで、市民に多様なスポーツ経験を提供することにつながります。  
このため、指導者の育成、スポーツに携わる地域の団体との連携、選手の表彰、市民のスポーツ実施へのアスリートの活用など、競技スポーツの振興が重要です。

## ④ スポーツボランティアが参加しやすい環境づくり

- 講演会の開催などによりスポーツボランティアへの機運醸成を図っていますが、コロナ禍でのスポーツイベント等の自粛もあって、市民のボランティア参加率は低下しています。多方面にわたるボランティア活動は、行政やスポーツ指導者の負担を軽減しつつ、地域で多くのプログラムやイベントを実施するために重要です。
- 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会等の大規模なスポーツイベントなどを契機とした、人々のスポーツへの関心の高まりを活かしつつ、スポーツボランティアのメリットや楽しさを伝えていく必要があります。
- ボランティア希望者が自分の関心やスケジュールに合わせて柔軟に活動できるよう、活動の内容や活動時間数等のバリエーションを増やし、オンラインも活用しながら情報発信に努め、参加しやすい環境を整えることも必要です。

## ⑤ 持続可能なスポーツ推進体制の構築

- 継続的な市民のスポーツ活動には、市スポーツ協会やスポーツ推進委員などの関係者との連携が必要不可欠です。また、スポーツ少年団などへの支援も必要です。
- 多くの市民が主体的に参加でき、スポーツに親しむためには、スポーツ団体と連携し、スポーツ環境の充実をはじめ、中学校の部活動地域展開に向けた受け皿づくりが重要です。

## (3) 官民連携による地域活力の創出

スポーツの力によって、地域の魅力を高め、観光や産業の振興につなげると同時に、市民のスポーツへの意識を高め、地域全体の活力や一体感を創出するため、行政と民間が連携し、効率的で多角的な取組を進める必要があります。

### ① 強みである大型スポーツ施設の有効活用

- エコパとさわやかアリーナを活かし、大規模な大会や試合の誘致・開催を進めていますが、コロナ禍での制約もある中、市民の現地観戦率は低く、スポーツへの関心の高まりにつながっていません。プロスポーツ・国際試合の誘致などに伴う地域経済の活性化に期待する市民が多いことから、引き続き、大会や試合の誘致・開催をすすめるとともに、スポーツが持つ価値を發揮し、シティプロモーションによる、地域の活性化、関係人口の拡大等に取り組むことが求められています。

### ② プロスポーツチームとの連携によるレガシー継承とシビックプライドの醸成

- ラグビーワールドカップ2019™を通じたラグビーへの関心の高まり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして応援したアイルランドとのつながり、袋井ゆかりのオリンピックとの交流実績も重要なレガシーです。今後も大規模スポーツ大会のレガシーを活用し、スポーツの観戦や応援の機運を高めることが重要です。
- 大型スポーツ施設の立地、袋井市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等との連携実績を活かし、市民による応援活動やプロスポーツチーム等と地域とのコラボレーションを進める必要があります。
- 観戦を楽しむための情報提供、大型スポーツ施設でのスポーツ+αのにぎわいの創出、プロスポーツチーム等との新事業の開拓など、さらに市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを楽しめる取組を行っていく必要があります。

### ③ 人を呼び込むスポーツツーリズムの推進

- スポーツ観戦スタイルが多様化するなか、現地観戦に出かけたくなるよう、スポーツ施設だけでなく、多様な地域資源を活用し、地域全体の魅力や利便性を高める必要があります。
- スポーツ合宿誘致を含めスポーツツーリズムを推進していますが、宿泊施設の確保や食事提供場所の充実、市内での移動手段の確保が課題であり、さらなる官民の連携のもと、補助金による支援やコンテンツの魅力を必要な学校・クラブ等に発信することが必要です。
- 海、川、里山、大規模な公園などの自然環境、寺や史跡などの文化財を活かしたスポーツ活動の展開により、市民がスポーツを始めるきっかけ、市外の人を惹きつける魅力の創出も望めます。